

文化・読書・スポーツ分野計画
アンケート調査分析まとめ

平成 3 1 年 3 月
地域のちから推進部

目 次

1 調査の概要	1
(1)調査目的	1
(2)調査対象	1
(3)調査方法	1
(4)調査期間	1
(5)回収数	1
(6)回答者の構成	2
2 3分野共通	3
(1)各分野における関心・行動の状況について	3
(2)人生 100 年時代を心豊かに生きるための6つの要素について	4
(3)各分野における行動がもたらす効果	5
3 文化に関する集計・分析結果	6
(1)一般区民(16 歳以上)の文化芸術活動の実態	6
(2)子どもの文化芸術活動の実態	8
(3)創作や表現などを体験するイベントや講座に参加後の行動(一般区民)	10
(4)住む地域の伝統芸能や文化財などの鑑賞や体験	10
(5)文化芸術活動をするために必要なこと	11
(6)文化芸術の効果	13
(7)文化芸術を鑑賞していない人の特徴	14
(8)無関心層・関心層が求めること	15
(9)区内で文化芸術に親しむ人が増えるために必要なこと	16
(10)文化芸術と他分野との連携に向けた分析	16
4 読書に関する集計・分析結果	17
(1)一般区民(16 歳以上)の読書活動の実態	17
(2)子どもの読書活動の実態	18
(3)読後の行動(一般区民)	19
(4)図書館利用	20
(5)読書をするために必要なこと	20
(6)読書の効果	22
(7)読書をしていない人の特徴	23
(8)読書に関心のない人の特徴	24
(9)無関心層・関心層が求めること	25
(10)その他、本を読まない人が求めること	25
(11)図書館の利用促進のために必要なこと	25

5 スポーツに関する集計・分析結果	26
(1)一般区民(16歳以上)のスポーツの実態	26
(2)子どものスポーツの実態	28
(3)スポーツの実施場所	29
(4)スポーツをするために必要なこと	29
(5)スポーツの効果	31
(6)関心・行動別にみた回答者の構成	32
(7)運動・スポーツをしていない人の特徴	32
(8)区に求める施策	33
(9)区内に住む人とのつながり	33
(10)保護者のスポーツへの関心と子どものスポーツ実施	33
6. 3分野を横断した分析	34
(1)読書と他分野との連携に向けた分析(一般区民)	34
(2)読書の行動層における他の分野での行動に関する課題等(一般区民)	36
(3)3分野すべてにおける無関心層の特徴	40

1 調査の概要

(1)調査目的

計画の策定に向けて、各分野における関心や行動の実態、人生100年時代を心豊かに生きるための要素に対する意識、各分野を楽しむ区民が増えるための施策ニーズなどを把握するため、アンケート調査を実施しました。

(2)調査対象

No.	対象者	本文中の略称
1	16歳以上の一般区民	一般区民向け調査
2	区立小学校(9校)に在籍する 小学5年生の保護者・児童	小学5年生・中学1年生向け調査
3	区立中学校(7校)に在籍する 中学1年生の保護者・生徒	

注)No.2とNo.3の調査票は同じです。

(3)調査方法

No.1 :対象者に郵送にて配付・回収

No.2・3 :学校を通じて配付・回収

(4)調査期間

No.1 :平成30年9月28日(金)～10月12日(金)

No.2・3 :平成30年10月1日(月)～10月12日(金)

(5)回収数

No.	配付数	有効回答数	有効回答率
1	8,000件	2,842件	35.5%
2	625件	541件	86.6%
3	721件	550件	76.3%

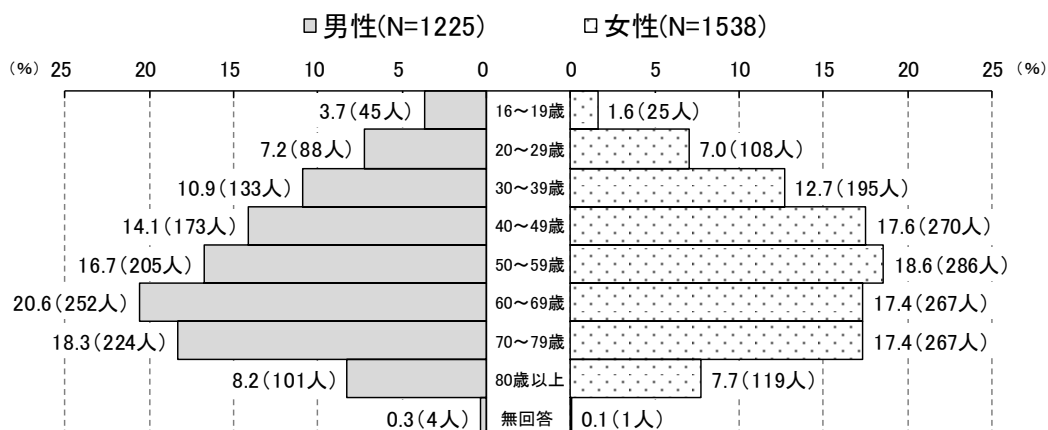
(6)回答者の構成

No.	調査名		回答者		
			全体	男性	女性
1	一般区民向け調査		2,842件	1,225件	1,538件
2・3	小学5年生・ 中学1年生向け調査	小5	541件	276件	252件
		中1	550件	250件	283件

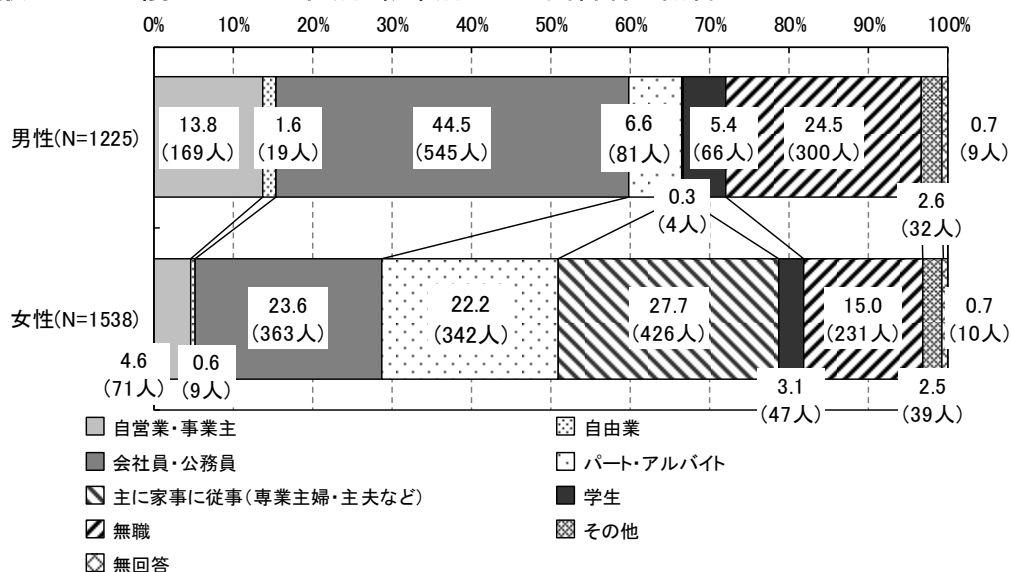
注1)No.1について、2,842件のうち79件は性別の無回答者です。

注2)No.2・3について、541件のうち13件、550件のうち17件は性別の無回答者です。

一般区民向け調査について性別・年代別にみた回答者の割合



一般区民向け調査について性別・職業別にみた回答者の割合



2 3分野共通

(1)各分野における関心・行動の状況について

○関心の有無と、過去における行動の有無に対する回答に基づき、「無関心層」・「関心層」・「行動層」を次の通り定義しました。また、各分野におけるそれぞれの層の割合も算出しました。

文化・読書・スポーツの「無関心層」・「関心層」・「行動層」の定義

分野	分類	関心の有無	行動の有無
文化	無関心層	「文化芸術」に関心がなく、 <u>かつ</u>	過去1年間で 文化芸術を鑑賞しなかった人
	関心層	「文化芸術」に関心があり、 <u>かつ</u>	
	行動層	「文化芸術」に関心があり、 <u>かつ</u>	過去1年間で 文化芸術を鑑賞した人
読書	無関心層	「読書」に関心がなく、 <u>かつ</u>	<u>過去1か月間</u> で 本を読まなかった人
	関心層	「読書」に関心があり、 <u>かつ</u>	
	行動層	「読書」に関心があり、 <u>かつ</u>	<u>過去1か月間</u> で本を読んだ人
スポーツ	無関心層	「運動・スポーツ」に関心がなく、 <u>かつ</u>	過去1年間で 運動・スポーツを実施しなかった人
	関心層	「運動・スポーツ」に関心があり、 <u>かつ</u>	
	行動層	「運動・スポーツ」に関心があり、 <u>かつ</u>	過去1年間で 運動・スポーツを実施した人

注)各分野について、関心はないが、行動した人は除く。

一般区民向け調査

分野	文化	読書	スポーツ
無関心層	19.0%	29.8%	19.9%
関心層	18.7%	11.6%	21.6%
行動層	45.1%	43.3%	46.5%

小学5年生・中学1年生向け調査(子ども)

分野	文化	読書	スポーツ
無関心層	0.4%	19.2%	10.4%
関心層	9.1%	4.3%	9.7%
行動層	85.5%	50.0%	63.3%

(2)人生100年時代を心豊かに生きるための6つの要素について

○6つの要素について、あてはまると思うかどうかをまとめました。

(6項目)	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない
自分のやりたいことに取り組もうと思う	63.0%	19.9%	8.9%
知らない物事を学ぼうと思う	56.3%	25.1%	10.3%
新しいことにチャレンジしようと思う	46.7%	29.8%	14.8%
まわりの人の役に立とうと思う	52.9%	28.5%	10.1%
異なる考え方や価値観を尊重しようと思う	62.8%	22.9%	5.8%
自分の住む地域の人たちとつながりを持とうと思う	43.9%	33.5%	15.2%

※上記「あてはまる」は、「あてはまる」と「どちらか」とあてはまるを選んだ人の割合で、「あてはまらない」は「あてはまらない」と「どちらか」とあてはまらないを選んだ人の割合です。

(3)各分野における行動がもたらす効果

○各分野がひとやまちにもたらす効果を検討するため、①人生100年時代を心豊かに生きるための6つの要素(以下、「6つの要素」という。)、②社会関係資本、③子どもの対処能力、④子どもの自己肯定感の4つの視点について、各分野の関心・行動の度合いによる違いを分析しました。

4つの視点		関心・行動の度合い
①6つの要素 ②社会関係資本 ③子どもの対処能力 ④子どもの自己肯定感	×	○無関心層 ○関心層 ○行動層

ア 分析結果(総論)

- すべての分野における「行動層」は、「無関心層」と「関心層」よりも6つの要素を総じて有している。
- 文化とスポーツの「行動層」は、「無関心層」と「関心層」よりも社会関係資本を有している。
- 文化とスポーツの「行動層」は、「無関心層」と「関心層」よりも保護者から対処能力が高いと思われる。
- すべての分野における「行動層」は、「無関心層」と「関心層」よりも自己肯定感が高い。

イ 文化の行動層が有する特徴

- 6つの要素のうち、「知らない物事を学ぼうと思う」、「新しいことにチャレンジしようと思う」が高くなっています。
- 対処能力のうち、「将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる」、「他人にきちんと挨拶することができる」が高くなっています。
- 自己肯定感のうち、「自分に、自信がある」、「自分には、人にじまんでできる」がたくさんある」が高くなっています。

ウ 読書の「行動層」が有する特徴

- 6つの要素のうち、「知らない物事を学ぼうと思う」、「新しいことにチャレンジしようと思う」が高くなっています。

エ スポーツの「行動層」が有する特徴

- 6つの要素のうち、「自分のやりたいことに取り組もうと思う」、「新しいことにチャレンジしようと思う」が高くなっています。
- 自己肯定感のうち、「自分に、自信がある」、「たいていのことは、人よりうまくできる」が高くなっています。

3 文化に関する集計・分析結果

(1)一般区民(16歳以上)の文化芸術活動の実態

ア 鑑賞

○文化芸術に関心のある人は65.6%です。

○東京都の調査と比べ、ほぼ同様の割合となっています。

参考)文化に関する世論調査【都】(平成29年)では、芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加することに興味・関心があると回答した人は67.5%です。

文化芸術に関心のある人の割合

調査種類	足立区調査	文化に関する世論調査(都)
割合	65.6%	67.5%

○過去1年間に文化ホールや美術館、博物館、劇場、映画館などに出かけて文化芸術を鑑賞した人は54.5%です。

○全国の調査と比べるとほぼ同様の割合です。東京都の調査と比べると下回っています。

参考)文化に関する世論調査【都】(平成29年)では、過去1年間に芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加したと回答した人は72.6%です。

参考)文化に関する世論調査【全国】(平成28年)では、過去1年間で文化芸術を直接鑑賞したと回答した人は59.2%です。

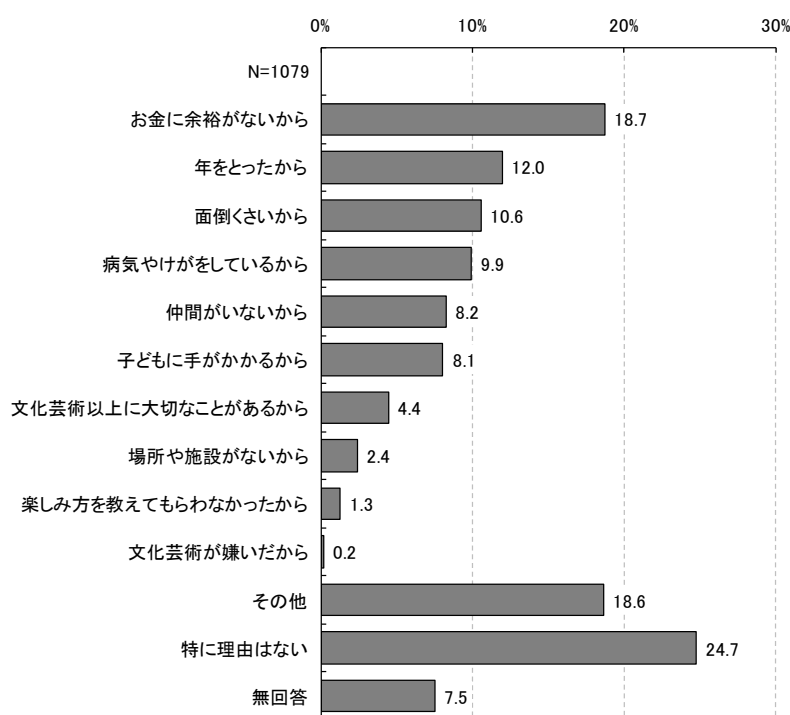
過去1年間に、文化芸術を鑑賞した人の割合

調査種類	足立区調査	文化に関する世論調査(都)	文化に関する世論調査(全国)
割合	54.5%	72.6%	59.2%

※都及び全国の文化芸術を鑑賞した人の割合は、全体から鑑賞しなかった人の割合を除いたもの。

○文化芸術を鑑賞しなかった理由では、「特に理由はない」(24.7%)、「その他」(18.6%)のほか、「お金に余裕がないから」が18.7%で多くなっています。

○テレビ、ラジオ、インターネット、DVD・CD、本などを通じた鑑賞は78.3%の人がおこなわれています。



【過去1年間において文化芸術を鑑賞しなかった理由】

○鑑賞方法としては、鑑賞場所が足立区内と足立区外のいずれの場合も、「一人で」よりも「誰かに誘われて」や「誰かを誘って」の割合が多くなっています。

文化芸術を鑑賞場所・鑑賞方法

	誰かに誘われて	一人で	誰かを誘って	その他	足立区内／区外では鑑賞していない	無回答
足立区内	15.5%	10.7%	15.1%	4.3%	26.8%	27.5%
足立区外	29.7%	21.0%	28.6%	5.8%	3.3%	11.5%

イ 活動

○文化芸術活動をおこなっている人は12.4%です。過去におこなっていたが、今はおこなっていない人は12.8%、おこないたいと思うが、おこなっていない人は10.0%です。

○東京都や全国の調査と比較すると、足立区では活動をおこなっている人は少なくなっています。

参考) 文化に関する世論調査【都】(平成29年)では、過去1年間で習い事や趣味の活動として、自分で演じたり作ったりしたものがあると回答した人は30.1%です。

参考) 文化に関する世論調査【全国】(平成28年)では、過去1年間で文化芸術に関わる活動をしたと回答した人(ボランティア活動を含む)は28.1%です。

文化芸術活動をおこなっている人の割合

調査種類	足立区調査	文化に関する世論調査(都)	文化に関する世論調査(全国)
割合	12.4%	30.1%	28.1%

○文化芸術活動について、自宅で趣味としておこなっている人は40.4%、サークルやグループでおこなっている人は39.7%、習い事としておこなっている人が33.7%と多くなっています。

(2)子どもの文化芸術活動の実態

ア 現在の文化芸術活動

○文化芸術への関心について、「映画やアニメーションを観ること」(83.8%)が最も多く、ついで「音楽を聴くことや、演奏すること(歌うことも含む)」(72.3%)、「絵を描くことや、観ること(塗り絵を楽しむことも含む)」(54.0%)となっています。いずれも同様の傾向が見られます。

子どもの文化芸術活動の割合

	映画やアニメーションを観ること	音楽を聴くことや、演奏すること	絵を描くことや、観ること
全体	83.8%	72.3%	54.0%
小学5年生	83.5%	67.1%	58.8%
中学1年生	84.0%	77.5%	49.3%

○過去1年間で学校行事以外で文化ホールや美術館、映画館などに出かけて、文化芸術を鑑賞した子どもは89.0%です。小学5年生で90.9%、中学1年生で87.1%です。

○学校の授業以外で美術や音楽、ダンスなどの文化的な活動として、「学校のクラブ活動・部活動」(47.9%)が最も多く、ついで「していない」(31.2%)となっています。小学5年生は60.7%、中学1年生は70.9%が活動をおこなっています。

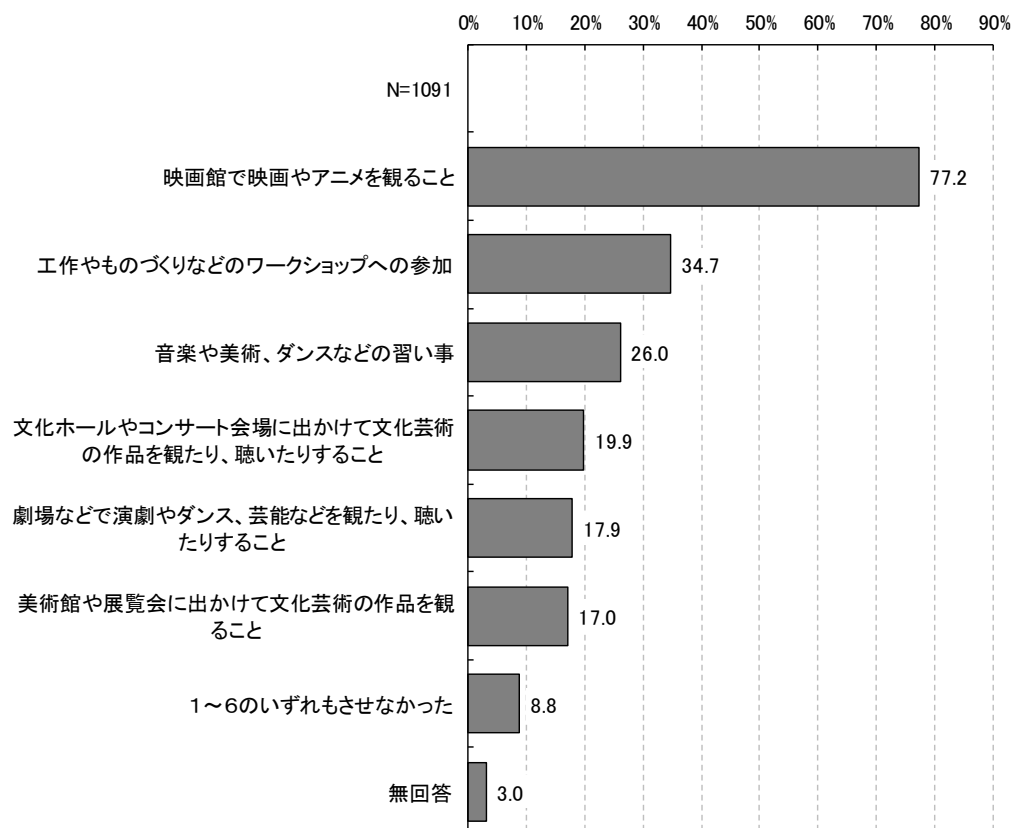
子どもの学校の授業以外の文化芸術活動の割合

	美術の習い事 (絵画、造形など)	音楽の習い事 (ピアノ、電子オルガンなど)	バレエなどの舞踊、ダンス、 演劇などの習い事	華道、茶道、書道などの 習い事	学校のクラブ活動・部活動	その他	していない	無回答
全体	0.9%	13.6%	8.8%	8.9%	47.9%	10.7%	31.2%	3.0%
小学5年生	1.1%	13.1%	12.0%	10.9%	37.5%	13.1%	36.0%	3.3%
中学1年生	0.7%	14.0%	5.6%	6.9%	58.2%	8.4%	26.4%	2.7%

イ 幼少期の文化芸術活動

○保護者から見て未就学児の頃に子どもが好きだったこととして、文化芸術に関わる項目では、「映画やアニメーションを観ること」(67.2%)が最も多く、ついで「絵を描くことや、観ること(塗り絵を楽しむことも含む)」(53.7%)、「音楽を聴くことや、演奏すること(歌うことも含む)」(49.0%)となっています。

○未就学児の頃の幼稚園・保育園の活動以外では、「映画館で映画やアニメを観ること」(77.2%)が最も多く、ついで、「工作やものづくりなどのワークショップへの参加」(34.7%)、「音楽や美術、ダンスなどの習い事」(26.0%)となっています。

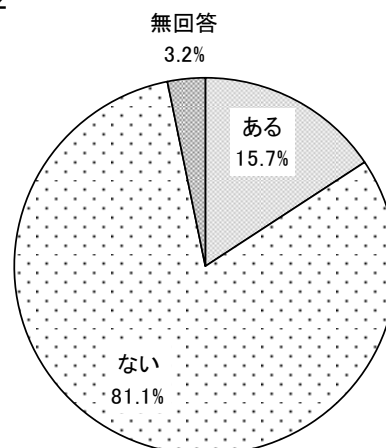


【未就学児の頃の文化芸術活動】

(3)創作や表現などを体験するイベントや講座に参加後の行動(一般区民)

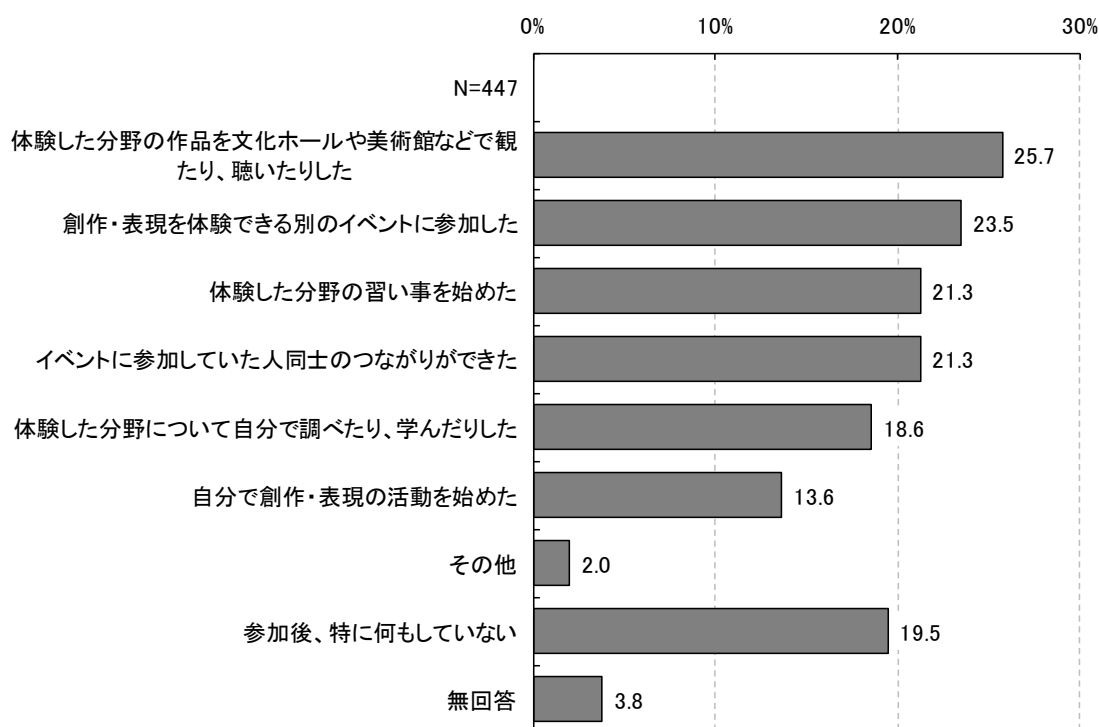
○文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座に参加したことのある人は15.7%です。

N=2842



【文化芸術活動の体験】

○さらに、イベントや講座の参加後に行動を起こした人は、76.7%です。「体験した分野の作品を文化ホールや美術館などで観たり、聴いたりした」(25.7%)が最も多く、ついで「創作・表現を体験できる別のイベントに参加した」(23.5%)と「体験した分野の習い事を始めた」(21.3%)、「イベントに参加していた人同士のつながりができた」(21.3%)となっています。



【文化芸術活動の体験後の行動】

(4)住む地域の伝統芸能や文化財などの鑑賞や体験

○伝統芸能や文化財などの鑑賞や体験をしたことのある人は57.7%です。

○「郷土博物館の展示を観たことがある」(22.0%)、「地域の祭事など、年中行事に参加したことがある」(21.3%)が多い一方で、「関心はあるが、実際に観たり、聴いたりしたことはない」が16.9%となっています。

(5)文化芸術活動をするために必要なこと

ア 関心を持つようになったきっかけ

○関心を持つようになったきっかけは、「テレビや新聞などの宣伝・広告をみて」(42.8%)が多く、ついで「ドラマや映画を通じて」(33.7%)、「特定の作家・アーティストや作品に関心を持った」(33.5%)、「友人・知人に誘われて」(31.4%)となっています。

イ 一般区民が文化芸術を鑑賞するようになるきっかけ

○文化芸術を鑑賞しない人が鑑賞するようになるためのきっかけとしては「手ごろな料金であれば」(45.7%)が最も多く、ついで「身近な場所があれば」(44.6%)、「行きやすい時間帯であれば」(26.8%)となっています。

参考)文化に関する世論調査【全国】(平成28年)では、美術館や博物館にもっと行きやすくなるための手法として、「入場料が安くなる」(32.6%)、「住んでいる地域やその近くに美術館・博物館ができる(増える)」(30.7%)が多くなっています。※美術館と博物館に限定

ウ 子どもが文化芸術を鑑賞するようになるきっかけ

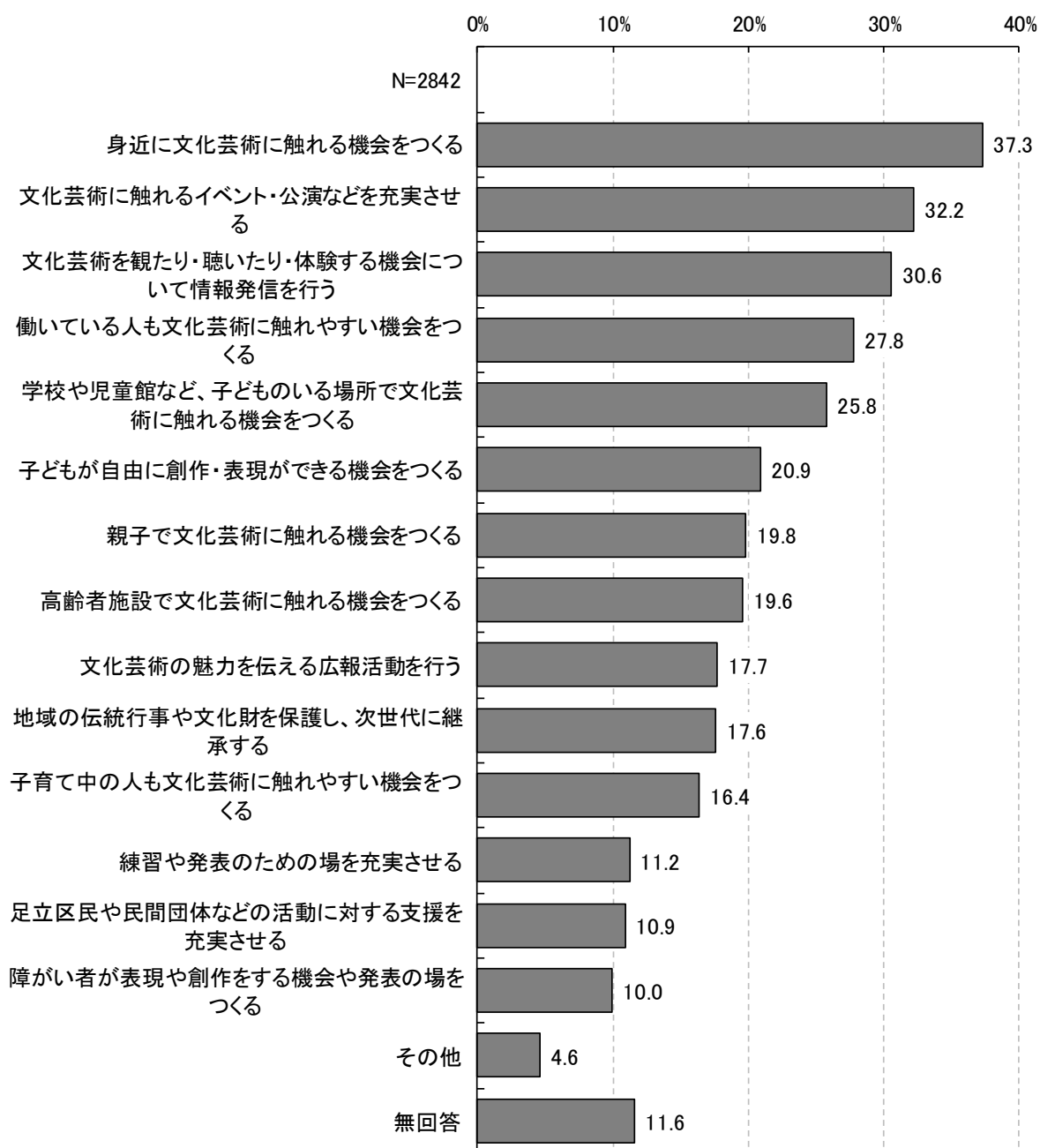
○子どもが文化芸術を鑑賞するきっかけとしては、「無料であれば」が43.7%で最も多くなっています。

○学年別にみると、小学5年生は「学校や児童館など、近所であれば」(44.2%)が最も多く、中学1年生は「無料であれば」(45.0%)が最も多くなっています。

エ 区に求める取組

○「身近に文化芸術に触れる機会をつくる」(37.3%)が最も多く、ついで「文化芸術に触れるイベント・公演などを充実させる」(32.2%)、「文化芸術を観たり・聴いたり・体験する機会について情報発信を行う」(30.6%)となっています。

参考)文化に関する世論調査【都】(平成29年)では、文化施策に対する要望として、「子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する」(45.5%)が最も多く、ついで「魅力的な展示・イベントを行う」(37.2%)、「東京から世界へはばたく若い芸術家を育成・支援する」(24.2%)となっています。



【足立区で文化芸術を楽しむ人が増えるために、重点的に進めた方が良い施策】

(6)文化芸術の効果

ア 文化芸術を楽しむ人が増えることによる効果

○文化芸術を楽しむ人が増えることで、まちにもたらされる効果としては、「地域に対する愛着・誇りが高まる」(64.2%)が最も多く、ついで「まちの魅力が高まる」(63.9%)、「新しい、価値ある物事が発信されるようになる」(58.2%)となっています。読書やスポーツと比べ全体的に割合が高く、すべての項目において平均よりも上回っています。

参考)文化に関する世論調査【都】(平成29年)では、文化活動を行うことで生まれる効果として、「気分転換・ストレス解消」(65.7%)が最も多く、ついで「教養が深まる」(44.9%)、「生きがいづくり」(39.4%)、「仲間(友人)ができる」(31.5%)が多くなっています。

(12項目)	文化	読書	スポーツ	無回答
1. 心身ともに健康な人が増える	38.7%	32.2%	80.7%	16.2%
2. 健やかに、心豊かな子どもが育つ	56.4%	67.1%	52.7%	18.4%
3. 自立して、やりたいことに取り組む人が増える	45.0%	35.6%	47.8%	27.4%
4. 新しい、価値ある物事が発信されるようになる	58.2%	47.4%	19.4%	26.3%
5. 住民同士が支え合い、助け合う雰囲気生まれる	52.9%	8.5%	52.3%	28.1%
6. 多様性が尊重され、住みやすくなる	55.7%	24.1%	31.0%	32.9%
7. 社会性や道徳観が高まり、安心して住めるようになる	56.0%	38.4%	35.0%	28.5%
8. 地域の人々のコミュニティが形成され、深まる	56.8%	11.5%	56.8%	26.8%
9. 地域の課題に主体的に取り組む人が増える	52.5%	12.9%	35.1%	34.9%
10. 地域に対する愛着・誇りが高まる	64.2%	12.4%	35.0%	29.6%
11. まちの魅力が高まる	63.9%	15.3%	34.9%	31.2%
12. 効果はない	0.9%	2.1%	0.9%	97.6%

イ 文化芸術が子どもにもたらす効果

○文化芸術が子どもにもたらす効果(保護者が回答)としては、「感じたことや考えたことを自分で表現する意欲」が49.9%で最も多く、「新しい考えを生み出し、自分の考えをより良いものにする意欲」も44.5%で多くなっています。

各分野における上位3位

	文化	読書	スポーツ
1位	感じたことや考えたことを自分で表現する意欲	新しい考えを生み出し、自分の考えをより良いものにする意欲	何事もあきらめずにやりとげる意欲
2位	新しい考えを生み出し、自分の考えをより良いものにする意欲	感じたことや考えたことを自分で表現する意欲	自分のやりたいことに向かって心と体を働かせる意欲
3位	他者の意見や価値観を尊重する気持ち	他者の意見や価値観を尊重する気持ち	他人と協力・協調する気持ち

(7)文化芸術を鑑賞していない人の特徴

ア 性別からみた分析(一般区民)

単位%

○女性は文化芸術への関心・行動に応じて割合が多くなりますが、男性は逆に関心・行動に応じて割合が少なくなります。

○男性は文化芸術に関心を持ったきっかけとして、メディアによる影響が女性よりも多く、鑑賞をしたひともしかりで見て行った割合が多くなっています。

	合計	男性	女性	無回答
全体	(N=2611)	43.5	54.8	1.8
無関心層	(N=539)	57.9	39.9	2.2
関心層	(N=531)	45.0	52.9	2.1
行動層	(N=1282)	35.7	63.0	1.2
その他	(N=259)	48.6	48.6	2.7

【性別でみた関心・行動層の割合】

イ 年代からみた分析(一般区民)

○30代は子育てを理由に鑑賞に行かなかったと回答する割合が多くなっています。

○70歳以上は鑑賞に行かなかった理由として、「年をとったから」が多くなっています。

ウ 時間的・経済的余裕からみた分析(一般区民)

○趣味や自分の楽しみのために使える時間やお金が充分でない人ほど鑑賞している割合が少なくなります。

エ 保護者の関心・行動からみた分析(子ども)

○幼稚園・保育園での活動以外の文化活動の度合いに応じて、子どもの文化芸術の関心・行動の割合が多くなっています。

○保護者の文化芸術への関心・行動に応じて、文化芸術に対する子どもが過去1年間に文化芸術を鑑賞した割合が多くなっています。

単位%

		合計	はい	いいえ	無回答
保護者の 文化芸術 の関心・ 行動層	全体	100.0	89.2	9.3	1.5
	無関心層	(N=193)	80.3	16.6	3.1
	関心層	(N=187)	81.8	17.6	0.5
	行動層	(N=558)	94.4	4.3	1.3
	その他	(N=115)	90.4	7.8	1.7

【保護者の関心・行動層からみた子どもの過去1年間の鑑賞の有無】

オ 幼少期の文化活動(子ども)

○就学前に文化芸術に親しんでいた子どもほど、現在も文化芸術を鑑賞している傾向にあります。

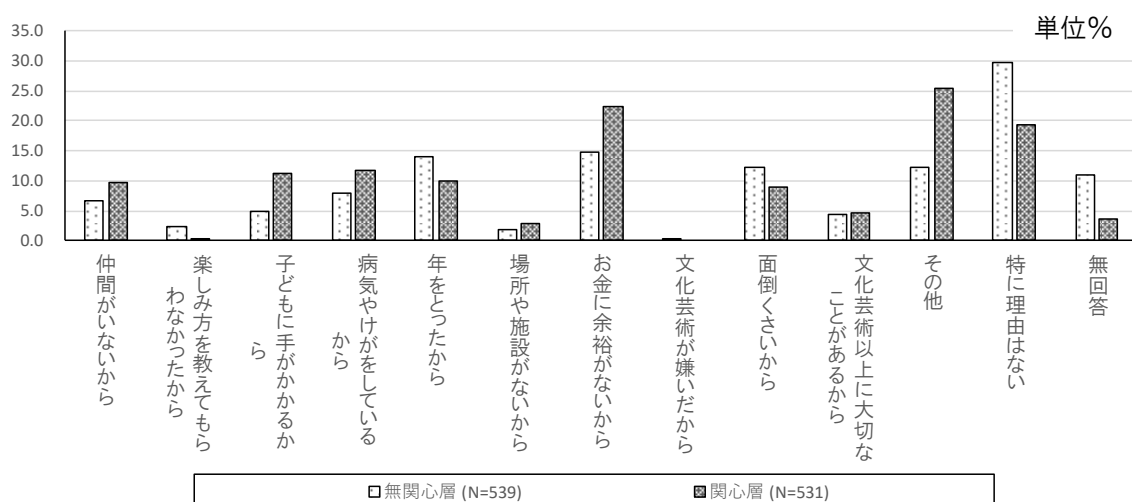
単位%

		合計	活動させ た	活動させ なかった	無回答
子どもの 文化芸術 の関心・ 行動層	全体	(N=1,068)	88.3	9.0	2.7
	無関心層	(N=4)	75.0	0.0	25.0
	関心層	(N=99)	71.7	26.3	2.0
	行動層	(N=933)	90.1	7.2	2.7
	その他	(N=32)	87.5	9.4	3.1

【子どもの関心・行動層からみた就学前の子どもの文化芸術的な活動の有無】

(8)無関心層・関心層が求めること

○過去1年間に鑑賞しなかった人の理由として、無関心層は「特に理由はない」が約3割と多く、関心層は「その他」「お金に余裕がないから」が多くなっています。



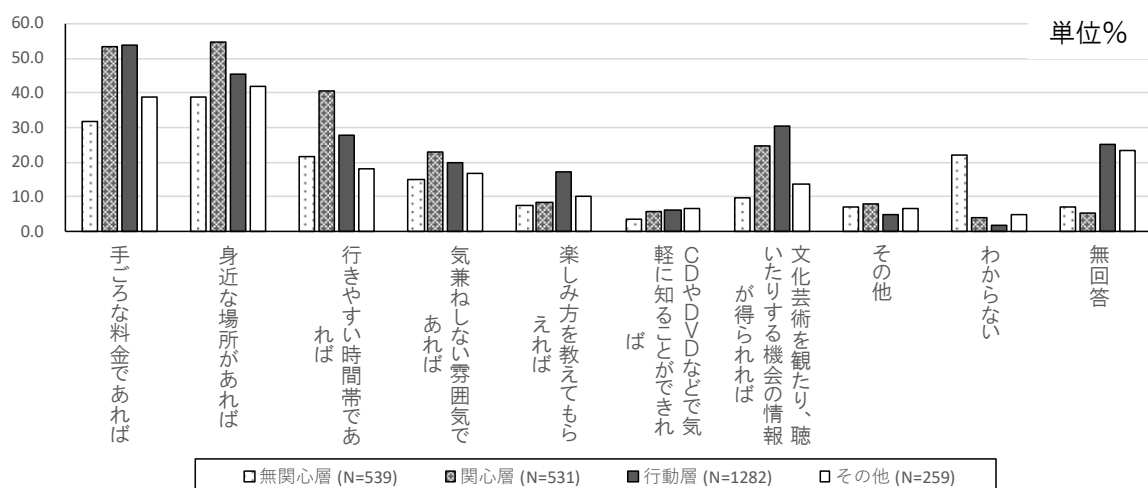
【関心層・無関心層別にみた過去1年間の鑑賞しなかった理由】

ア 文化芸術を鑑賞していない子どもが求めること(子ども)

○文化芸術に関心があるにもかかわらず、鑑賞していない子どもが鑑賞するきっかけとして、「無料であれば」(44.4%)、「学校や児童館など、近所であれば」(37.4%)、「親に連れて行ってもらえれば」(34.3%)が多くなっています。

イ 文化芸術を鑑賞していない人が求めること(一般区民)

○場所・料金・時間に関するニーズが多くなっており、「文化芸術を観たり、聴いたりする機会の情報が得られれば」は関心・行動の度合いに応じて多くなっています。



【関心・行動別にみた鑑賞しなかった人が鑑賞するようになるきっかけ】

○文化芸術を鑑賞しない人が鑑賞するきっかけとして、20歳代は「気兼ねしない雰囲気であれば」(29.4%：全体平均19.0%)、「楽しみ方を教えてもらえれば」(27.9%：全体平均11.8%)が多くなっています。

(9)区内で文化芸術に親しむ人が増えるために必要なこと

○足立区で文化芸術の作品を楽しむ人が増えるために、重点的に進めた方が良い施策に対する回答は、関心・行動の度合いに応じて割合が多くなっていますが、関心層においては、「働いている人も文化芸術に触れやすい機会をつくる」が36.0%と多くなっています(一般区民)。

(10)文化芸術と他分野との連携に向けた分析

○文化の行動層では、読書およびスポーツでも行動層が多くなっています。行動している人は分野にかかわらず、行動していると推察されます(一般区民)。

単位%

		合計	読書の関心・行動				
			無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
全体		(N=2611)	29.3	12.1	45.9	11.2	1.5
文化の関心・行動	無関心層	(N=539)	51.2	10.8	21.3	14.1	2.6
	関心層	(N=531)	29.4	17.1	43.5	8.1	1.9
	行動層	(N=1282)	16.8	11.9	60.1	10.3	0.9
	その他	(N=259)	44.8	5.8	32.0	15.8	1.5

【文化の関心・行動からみた読書の関心・行動】

単位%

		合計	スポーツの関心・行動				
			無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
全体		(N=2611)	20.6	22.3	48.4	6.0	2.7
文化の関心・行動	無関心層	(N=539)	29.7	25.4	34.3	6.9	3.7
	関心層	(N=531)	22.2	30.1	40.9	4.5	2.3
	行動層	(N=1282)	16.2	19.0	56.3	6.2	2.3
	その他	(N=259)	19.7	16.6	53.7	6.2	3.9

【文化の関心・行動からみたスポーツの関心・行動】

4 読書に関する集計・分析結果

(1)一般区民(16歳以上)の読書活動の実態

○読書に関心のある人は55.2%です。文化・スポーツに比べて少なくなっています。

○過去1ヶ月間に本を読んだ人は54.3%です。

○全国と比較すると、同じ程度の割合となっています。ただ、全国を対象とした調査は習慣を尋ねており、足立区の調査は実際に読んだかどうかを尋ねている点で異なります。

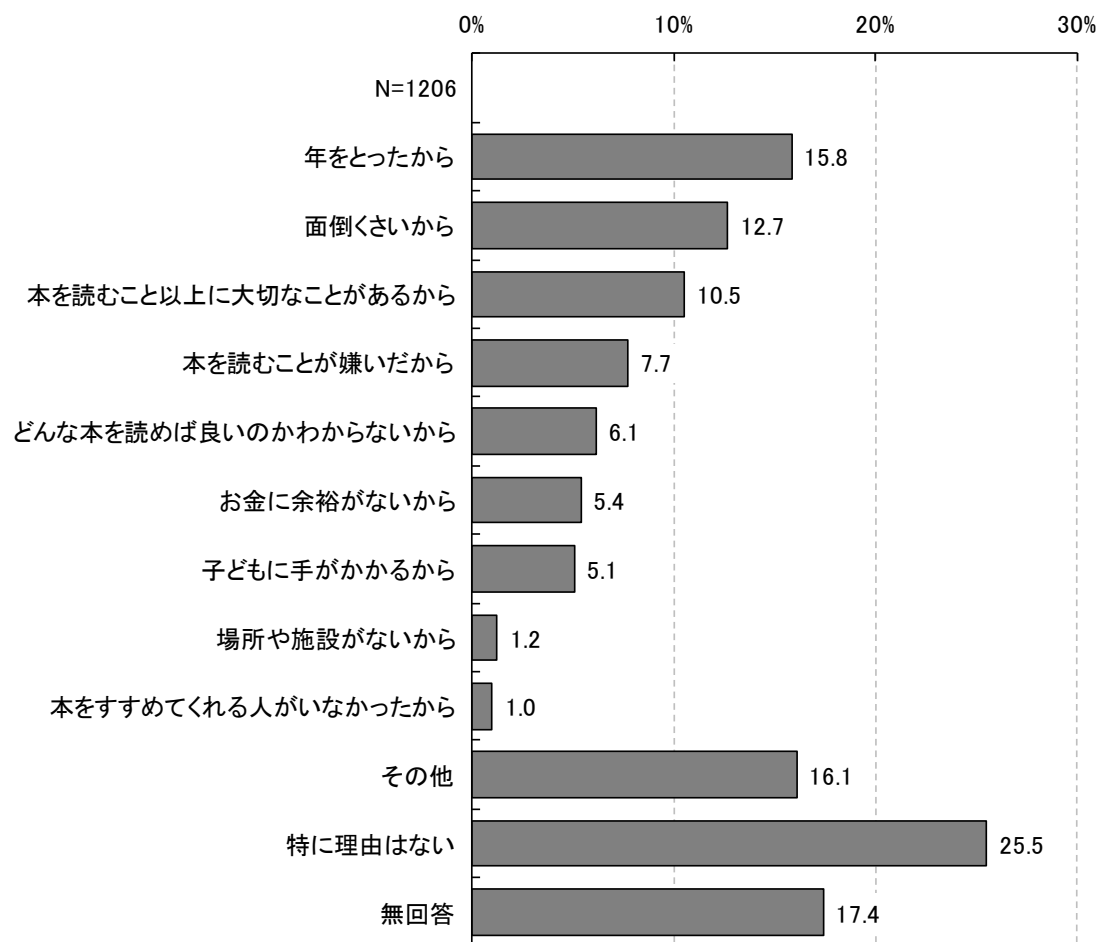
参考) 読書世論調査(平成29年)では、日ごろ書籍を読むと回答した人は45.0%です。

参考) 国語に関する世論調査(平成25年度)では、1ヶ月に1冊以上本を読む人は52.5%です。

読書習慣

調査種類	足立区調査	読書世論調査(全国)	国語に関する世論調査(全国)
割合	54.3%	45.0%	52.5%

○読書をしなかった理由では、「特に理由はない」(25.5%)、「その他」(16.1%)のほか、「年をとったから」が15.8%で多くなっています。



【過去1ヶ月において読書をしない理由】

(2)子どもの読書活動の実態

ア 現在の読書活動

○読書に関心のある子どもは49.8%です。小学5年生で55.1%、中学1年生で44.5%です。

○東京都は好き・嫌いを尋ねている点で今回の調査と違いはありますが、東京都に比べると足立区の方が多くなっています。

参考) 東京都による読書状況調査(平成29年度実施)では、本を読むことが好きな小学5年生は45.0%、中学1年生は35.3%です。

読書に関心のある子ども／好きな子ども

調査種類	足立区調査	読書状況調査(東京都)
小学(5年)生	55.1%	45.0%
中学(1年)生	44.5%	35.3%

○過去1ヶ月間で本を読んだ子どもは73.4%です。小学5年生で81.1%、中学1年生で65.8%です。

○全国および東京都と比較すると、いずれの学年も本を読んだ子どもは少なくなっています。

参考) 学校読書調査(平成29年実施)では、1ヶ月(5月)に本を読んだ小学生は92.7%、中学生は84.3%です。

参考) 東京都による読書状況調査(平成29年度)では、1ヶ月間(8～9月)に本を読んだ小学5年生は94.9%、中学1年生は84.5%です。

1ヶ月間に本を読んだ子ども

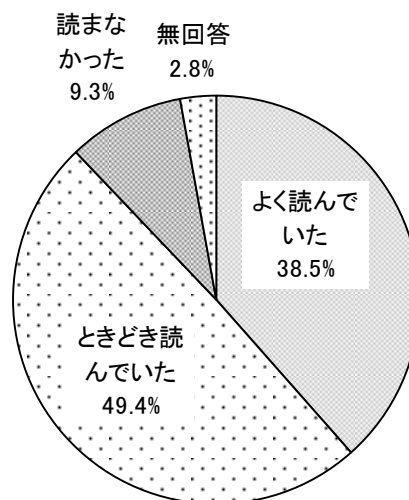
調査種類	足立区調査	学校読書調査(全国)	読書状況調査(東京都)
小学(5年)生	81.1%	92.7%	94.9%
中学(1年)生	65.8%	84.3%	84.5%

イ 幼少期の読書活動

○保護者から見て未就学児の頃に本を読むことや読み聞かせが好きだったという子どもは43.8%となっています。

○未就学児の頃に、幼稚園・保育園の活動以外で本を読んでいなかった子どもは9.3%です。

N=1091



【未就学児の頃の読書活動】

ウ 調べ学習に近い読書活動

○図鑑で何かを調べることが好きな子どもは20.9%です。小学5年生で25.9%、中学1年生で16.0%です。

エ インターネット利用

○過去1ヶ月間でスマートフォン等の携帯端末やパソコンを利用した子どもは80.9%です。小学5年生で74.5%、中学1年生で87.3%です。

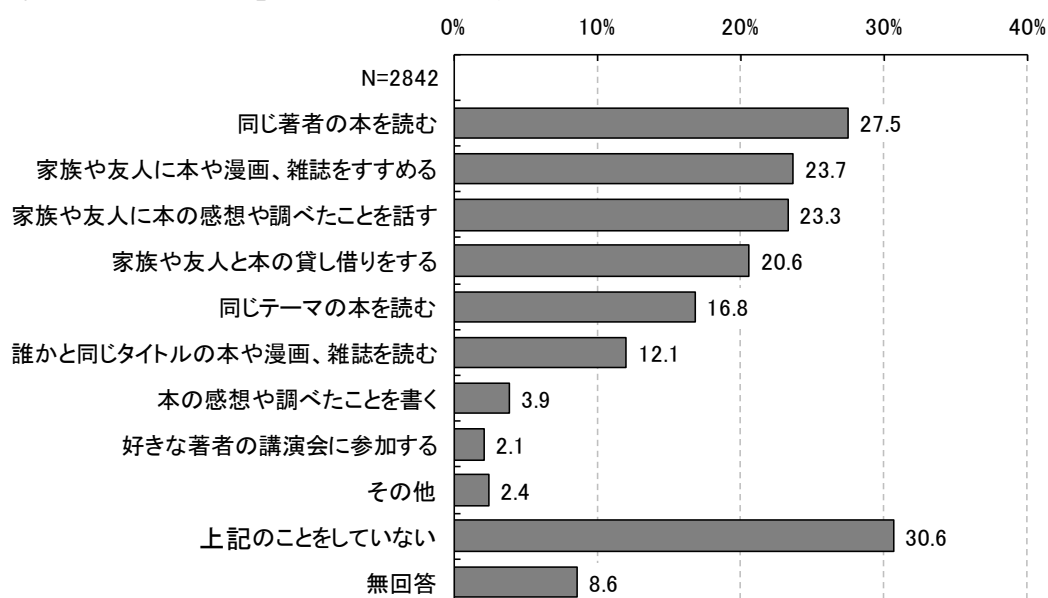
○具体的な利用としては、小・中学生ともに「言葉や事柄について調べた」(小5:33.1%、中1:47.3%)が多くなっています。また、「学校や塾の勉強のために使った」(小5:31.1%、中1:33.6%)も多いです。

	小説や作家の体験 談などを読んだ	ニュース記事を読んだ	言葉や事柄について 調べた	学校や塾の勉強のた めに使った	自分で文章を書いた	写真や動画などを 発信した	その他	どれもおこなわな かった(スマートフォン などを使っていない)	無回答
全体	6.2%	26.5%	40.2%	32.4%	7.4%	17.4%	28.0%	14.6%	4.5%
小学5年生	3.0%	18.1%	33.1%	31.1%	5.2%	9.6%	28.7%	20.7%	4.8%
中学1年生	9.5%	34.7%	47.3%	33.6%	9.6%	25.1%	27.3%	8.5%	4.2%

(3)読後の行動(一般区民)

○「家族や友人に本や漫画、雑誌をすすめる」(23.7%)、「家族や友人に本の感想や調べたことを話す」(23.3%)、「家族や友人と本の貸し借りをする」(20.6%)です。読後に何らかのコミュニケーションをした人は41.4%です。

○「同じ著者の本を読む」(27.5%)、「同じテーマの本を読む」(16.8%)、「好きな著者の講演会に参加する」(2.1%)です。読後に新たな読書活動をした人は34.4%です。



【過去1年間における読書にかかわる行動】

(4)図書館利用

ア 一般区民の利用

- 過去1ヶ月間に図書館に行った人は19.6%です。
- 図書館を利用するためのサービスでは「駅の近くなどで本を借りたり、返せたりする場所を増やす」が37.4%で最も多くなっています。

イ 子どもの利用

- 過去1ヶ月間に区立図書館に行った子どもは27.8%です。小学5年生で30.7%、中学1年生で24.9%です。
- 未就学児の頃に図書館に行った子どもは58.8%です。読み聞かせのイベントに参加した子どもは17.1%です。
- 学校図書館の利用については、小学5年生では33.5%、中学1年生では45.6%の子どもが利用していません。

(5)読書をするために必要なこと

ア 関心を持つようになったきっかけ

- 関心を持つようになったきっかけは、「特定の著者や本に関心を持った」(46.9%)と「テレビや新聞などの宣伝・広告をみて」(33.8%)が多くなっています。

イ 一般区民が読書をするようになるきっかけ ※次ページにグラフを掲載

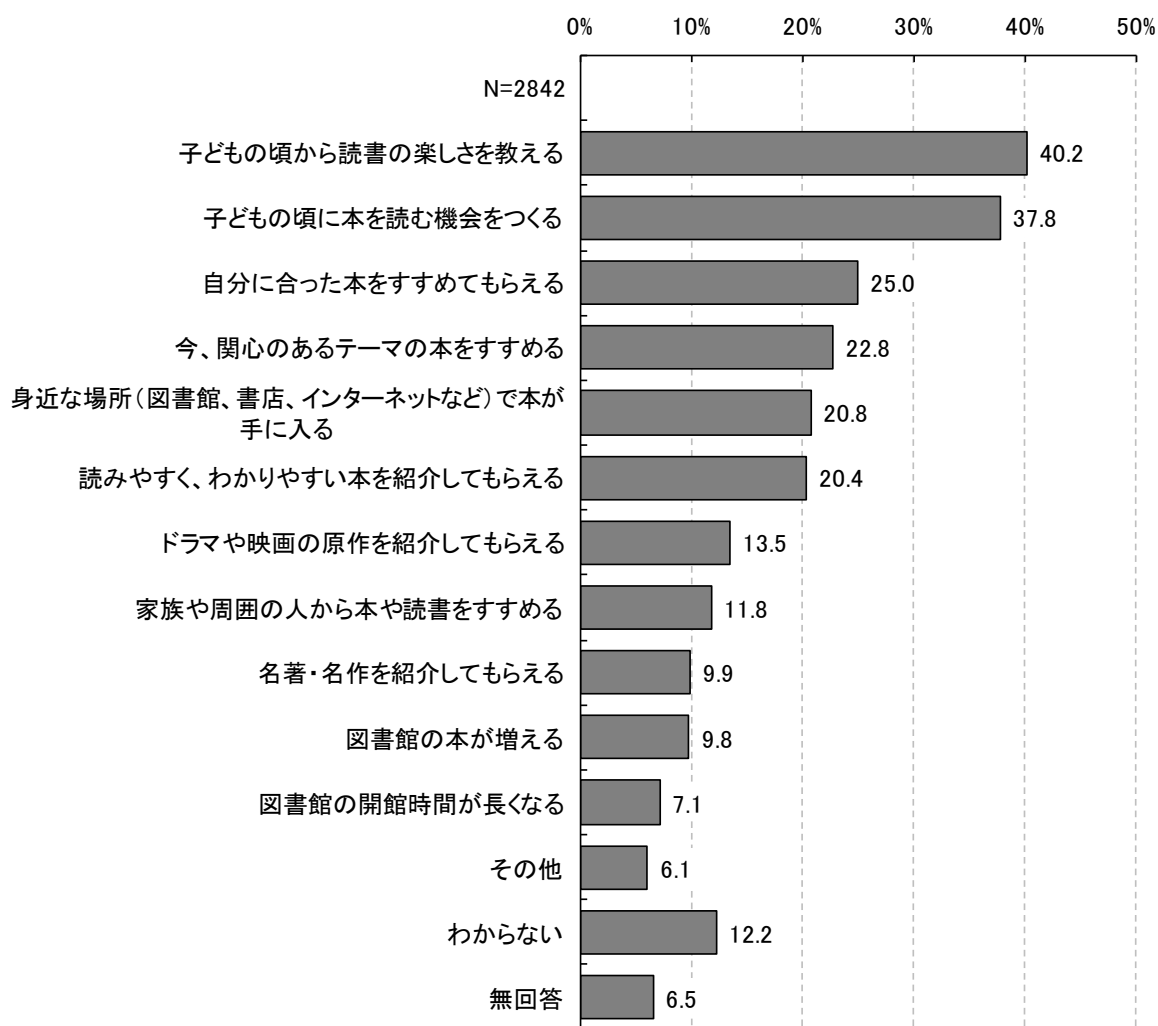
- 読書をするようになるきっかけとしては、「子どもの頃から読書の楽しさを教える」(40.2%)、「子どもの頃に本を読む機会をつくる」(37.8%)が多くなっています。
- 「自分に合った本をすすめてもらえる」(25.0%)、「今、関心のあるテーマの本をすすめる」(22.8%)、「読みやすく、わかりやすい本を紹介してもらえる」(20.4%)など、本をすすめてもらうことも2割程度で多くなっています。
- 「身近な場所(図書館、書店、インターネットなど)で本が手に入る」(20.8%)も、本をすすめてもらうことと同程度となっています。

ウ 子どもが読書をするようになるきっかけ

- 本を読むようになるきっかけとしては、いずれの学年も「図書館に読みたい本がある」(小5:23.9%、中1:21.1%)で多いですが、「わからない」も多くなっています。

エ 区に求める取組

- 「身近に本に親しめる場所をつくる」(43.0%)が最も多くなっています。
- 「本に関する情報を得やすくする」(28.0%)、「区立図書館の蔵書数を増やす」(26.2%)、「働いている人も本に親しむ機会をつくる」(22.5%)も2割台となっています。



【一般区民が読書をするようになるきっかけ】

(6)読書の効果

ア 読書をする人が増えることによる効果

○読書をする人が増えることで、まちにもたらされる効果としては、「健やかに、心豊かな子どもが育つ」が67.1%で最も多く、「新しい、価値ある物事が発信されるようになる」も47.4%で多くなっています。

(12項目)	文化	読書	スポーツ	無回答
1. 心身ともに健康な人が増える	38.7%	32.2%	80.7%	16.2%
2. 健やかに、心豊かな子どもが育つ	56.4%	67.1%	52.7%	18.4%
3. 自立して、やりたいことに取り組む人が増える	45.0%	35.6%	47.8%	27.4%
4. 新しい、価値ある物事が発信されるようになる	58.2%	47.4%	19.4%	26.3%
5. 住民同士が支え合い、助け合う雰囲気生まれる	52.9%	8.5%	52.3%	28.1%
6. 多様性が尊重され、住みやすくなる	55.7%	24.1%	31.0%	32.9%
7. 社会性や道徳観が高まり、安心して住めるようになる	56.0%	38.4%	35.0%	28.5%
8. 地域の人々のコミュニティが形成され、深まる	56.8%	11.5%	56.8%	26.8%
9. 地域の課題に主体的に取り組む人が増える	52.5%	12.9%	35.1%	34.9%
10. 地域に対する愛着・誇りが高まる	64.2%	12.4%	35.0%	29.6%
11. まちの魅力が高まる	63.9%	15.3%	34.9%	31.2%
12. 効果はない	0.9%	2.1%	0.9%	97.6%

イ 読書が子どもにもたらす効果

○読書が子どもにもたらす効果(保護者が回答)としては、「新しい考えを生み出し、自分の考えをより良いものにする意欲」が63.6%で最も多く、「感じたことや考えたことを自分で表現する意欲」(48.1%)、「他者の意見や価値観を尊重する気持ち」(42.9%)も多くなっています。

各分野における上位3位

	文化	読書	スポーツ
1位	感じたことや考えたことを自分で表現する意欲	新しい考えを生み出し、自分の考えをより良いものにする意欲	何事もあきらめずにやりとげる意欲
2位	新しい考えを生み出し、自分の考えをより良いものにする意欲	感じたことや考えたことを自分で表現する意欲	自分のやりたいことに向かって心と体を働かせる意欲
3位	他者の意見や価値観を尊重する気持ち	他者の意見や価値観を尊重する気持ち	他人と協力・協調する気持ち

(7)読書をしていない人の特徴

ア 年代からみた分析(一般区民)

○70歳以上になると本を読む人は45.5%、80歳以上になると37.2%となっています。

○70歳以上の本を読まない理由の多くは「年をとったから」となっています。

単位: %

	合計	本を読んだ	本を読んでいない	無回答
全体	(N=2817)	54.3	42.5	3.2
16～19歳	(N=70)	50.0	50.0	0.0
20～29歳	(N=196)	58.7	41.3	0.0
30～39歳	(N=330)	63.9	35.5	0.6
40～49歳	(N=450)	60.4	38.7	0.9
50～59歳	(N=497)	59.6	39.4	1.0
60～69歳	(N=528)	53.2	44.1	2.7
70～79歳	(N=512)	45.5	45.3	9.2
80歳以上	(N=234)	37.2	54.7	8.1

【年代別にみた過去1ヶ月間の読書の有無】

イ 時間的・経済的余裕からみた分析(一般区民・子ども)

○時間的・経済的な余裕のない人では、過去1ヶ月に本を読む人の割合が少なくなります(一般区民)。

○家庭で子どものために使えるお金が十分に得られない場合は、過去1ヶ月に本を読む子どもの割合は少なくなります(子ども)。

単位: %

		合計	本を読んだ	本を読まなかった	無回答
全体		(N=1061)	73.4	23.8	2.7
子どものために使える お金が充分得られて いるかどうか	あてはまる	(N=176)	79.5	19.9	0.6
	どちらかといえばあてはまる	(N=355)	74.9	22.8	2.3
	どちらともいえない	(N=282)	74.1	21.3	4.6
	どちらかといえばあてはまらない	(N=165)	67.9	29.1	3.0
	あてはまらない	(N=83)	62.7	34.9	2.4

【子どものために使えるお金の有無でみた子どもの読書活動】

ウ 保護者の関心・行動からみた分析(子ども)

○保護者が読書に関心を持ち、本を読んでいる場合には、過去1ヶ月に本を読んだ子どもが多くなります。

○就学前に本を読んでいたという子どもが9.3%います。保護者が読書に関心がない(無関心層)場合は16.4%に増えます。

単位: %

	合計	本を読んだ	本を読んでいない	無回答
全体	(N=1055)	73.6	23.6	2.8
無関心層	(N=318)	61.6	34.3	4.1
関心層	(N=130)	71.5	26.9	1.5
行動層	(N=465)	84.7	13.3	1.9
その他	(N=142)	65.5	30.3	4.2

【保護者の関心・行動からみた子どもの読書】

エ 幼少期の読書と現在の読書(子ども)

○就学前に本を読んでいた子どもほど、本を読んでいる傾向にあります。就学前に本を読まなかった子どものうち過去1ヶ月に本を読んだ子どもが47.5%であるのに対して、就学前によく読んでいた子どもでは85.0%となります。

単位: %

	合計	本を読んだ	本を読んでいない	無回答
全体	(N=1060)	73.6	23.7	2.7
よく読んでいた	(N=420)	85.0	13.8	1.2
ときどき読んでいた	(N=539)	69.6	27.3	3.2
読まなかった	(N=101)	47.5	45.5	6.9

【子どもの未就学児のころの読書と現在の読書の関係】

(8)読書に関心のない人の特徴

ア 年代別にみた分析(一般区民)

○10歳代と75歳以上で、行動層よりも無関心層の方が多くなります。80歳以上では42.3%が無関心層となっています。

イ 就労や子育ての状況からみた分析(一般区民)

○働いている人よりも、専業主婦・主夫や学生、無職の方が無関心層が多くなります。
○子育ての状況によって読書に関心が持てなくなる傾向は見られません。

ウ 読書に関心のない子ども

○小学5年生での無関心層は12.6%で、中学2年生では25.8%と多くなります
○保護者が無関心層である場合、子どもも無関心層である傾向が見られます。
○幼少期に本を読まなかった子どもほど、無関心層が多くなっています。また、読み聞かせや図書館を利用しなかった子どもは無関心層が多くなっています。

単位: %

		合計	子どもの関心・行動				
			無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
全体		(N=1055)	19.2	4.2	50.4	22.7	3.5
保護者の関心・行動	無関心層	(N=318)	27.7	6.3	36.5	25.2	4.4
	関心層	(N=130)	23.1	3.8	46.9	23.8	2.3
	行動層	(N=465)	9.9	3.2	61.7	22.4	2.8
	その他	(N=142)	27.5	2.8	47.9	16.9	4.9

【保護者の関心・行動からみた子どもの関心・行動】

単位: %

	合計	無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
全体	(N=1060)	19.3	4.2	50.1	23.0	3.3
よく読んでいた	(N=420)	8.8	4.8	68.6	15.7	2.1
ときどき読んでいた	(N=539)	23.4	3.9	40.8	28.4	3.5
読まなかった	(N=101)	41.6	4.0	22.8	24.8	6.9

【未就学児の頃の読書からみた子どもの関心・行動】

単位: %

	合計	無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
全体	(N=1057)	19.4	4.3	50.4	22.8	3.1
図鑑などで何かを調べた	(N=339)	14.5	3.2	60.5	18.3	3.5
図書館に行った	(N=641)	14.0	3.3	57.3	22.3	3.1
書店に行った	(N=693)	15.2	4.8	56.1	21.1	2.9
読み聞かせのイベントに参加した	(N=187)	9.1	2.7	62.0	21.9	4.3
上記のいずれもしなかった	(N=125)	37.6	2.4	28.0	28.8	3.2

【未就学児の頃の読書活動からみた子どもの関心・行動】

(9)無関心層・関心層が求めること

ア 読書をしていない子どもが求めること(子ども)

○読書に関心のない子ども(無関心層)が本を読むようになるきっかけとしては、「図書館に読みたい本がある」(21.9%)が多くなっています。

○10歳代(一般区民)では、読書を楽しむ人が増えるために必要な施策として「区立図書館の蔵書数を増やす」が28.6%、「学校図書館の蔵書数を増やす」が21.4%となっています。

イ 読書をしていない人が求めること(一般区民)

○読書に関心があるが、本を読んでいない人(関心層)では、「自分に合った本をすすめてもらえる」(28.6%)のほか、本を紹介してもらうことが読書のきっかけになるという人が2～3割程度となっています。

○読書に関心のない人(無関心層)、読書に関心があるが、本を読んでいない人(関心層)では、読書を楽しむ人が増えるために必要な施策として「本に関する情報を得やすくする」が2～3割となっています。

(10)その他、本を読まない人が求めること

ア 高齢者にとってのきっかけ

○70歳以上の人では、読書を楽しむ人が増えるために必要な施策として「高齢者施設に本を置く」、「身近に本に親しめる場所をつくる」が2～3割半ばで多くなっています。

(11)図書館の利用促進のために必要なこと

ア 区立図書館を利用するきっかけ(一般区民)

○過去1ヶ月で図書館を利用していない人が図書館を利用するきっかけとしては、「駅の近くなどで本を借りたり、返せたりする場所を増やす」が37.8%で最も多いです。

○読書を楽しむ人が増えるために必要な施策としては、「身近に本に親しめる場所をつくる」が関心・行動の違いにかかわらず最も多くなっています。

	合計	開館時間を長くする	休館日を少なくする	蔵書の種類や数を多くする	電子書籍が利用できる	調べものや本の案内を支援するサービスを充実させる	おはなし会などのイベントを充実させる	子連れで利用しやすい環境をつくる	閲覧や学習ができるスペースを増やす
全体	(N=2750)	18.7	8.4	26.3	13.1	17.5	4.3	11.5	17.3
利用した	(N=556)	23.6	14.9	50.2	13.7	24.1	5.6	16.0	26.3
利用していない	(N=2194)	17.5	6.7	20.2	12.9	15.8	4.0	10.4	15.0

	合計	グループで会話ができるスペースをつくる	駅の近くなどで本を借りたり、返せたりする場所を増やす	自宅や職場で本を受け取ることができる(有料による宅配)	その他	無回答
全体	(N=2750)	6.8	38.5	9.7	12.8	13.3
利用した	(N=556)	9.0	41.2	7.7	12.4	5.8
利用していない	(N=2194)	6.2	37.8	10.3	12.9	15.2

【図書館の利用の有無からみた図書館に求めること】

5 スポーツに関する集計・分析結果

(1)一般区民(16歳以上)のスポーツの実態

ア するスポーツ

○16歳以上における週に1日以上運動・スポーツを実施した人は3割台半ば(35.9%)となっています。成人に限定してみると34.1%です。

○東京都(56.3%)及び全国(51.5%)と比べると、足立区のスポーツ実施率は低くなっています。ただし、東京都及び全国の調査とは尋ね方が異なり、また対象も異なることから、比較においては留意が必要です。

参考)週に1日以上スポーツを実施した都民は 56.3%(東京都)。

参考)成人の週1日以上スポーツ実施率は 51.5%(全国)。

参考)障がいを持った成人(全国)が週1日以上なんらかのスポーツ・レクリエーションを実施した割合は20.8%(「地域における障害者スポーツ普及促進事業(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)」報告書(平成30年3月 笹川スポーツ財団))

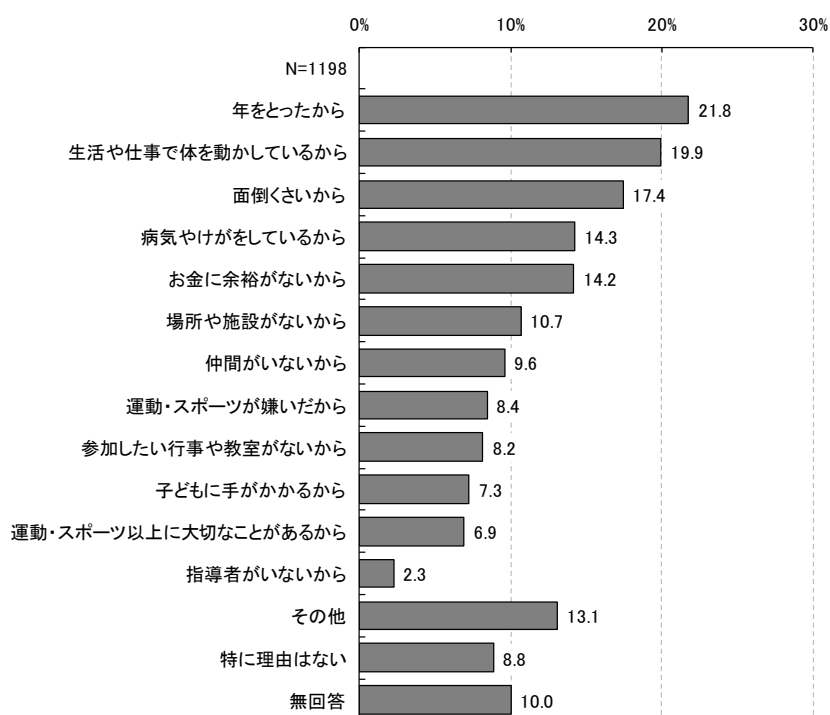
週1日以上スポーツをする人の割合

調査種類	足立区調査	東京都※1	全国※2
割合	34.1%	56.3%	51.5%

※1:「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査(平成29年1月)」

※2:「スポーツの実施状況等に関する世論調査(スポーツ庁、平成29年11月調査)」

○過去1年間に運動・スポーツを実施しなかった理由の上位をみると、「年をとったから」(21.8%)、「生活や仕事で体を動かしているから」(19.9%)、「面倒くさいから」(17.4%)となっています。



【過去1年間ににおいてスポーツをしなかった理由】

イ みるスポーツ

○過去1年間に国内・海外のトップスポーツ、国内のアマチュアスポーツの大会や試合を観に行った人は65.9%^{注)}となっています。

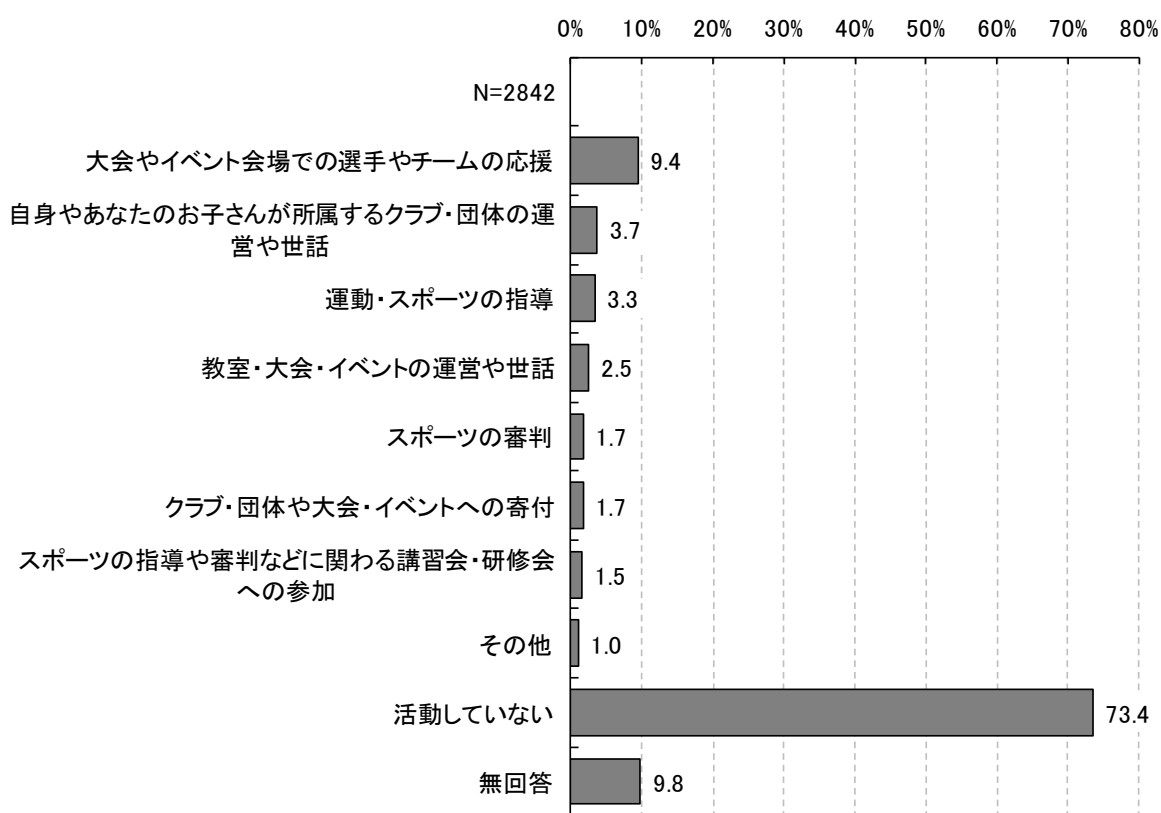
○過去1年間に学校・地域の運動会や大会、スポーツイベントを観に行った人は34.6%^{注)}となっています。

注)100%から「観たかったが、観られなかった」、「観なかった」、「無回答」の割合を引いています。

ウ ささえるスポーツ

○過去1年間にあなたが関わった運動・スポーツを支える活動をした人は16.8%^{注)}である一方で、活動していない人は73.4%となっています。

注)100%から「活動していない」、「無回答」の割合を引いています。



【過去1年間にあなたが関わった運動・スポーツを支える活動】

(2)子どものスポーツの実態

ア スポーツへの関心

○水泳やサッカー、野球などのスポーツをすることに関心のある子どもは55.2%です。小学5年生で59.0%、中学1年生で51.5%です。

○外遊びなど、体を動かすことに関心のある子どもは65.9%です。小学5年生で71.7%、中学1年生で60.2%です。

○スポーツの試合を観ることに関心のある子どもは34.6%です。小学5年生で34.0%、中学1年生で35.1%です。

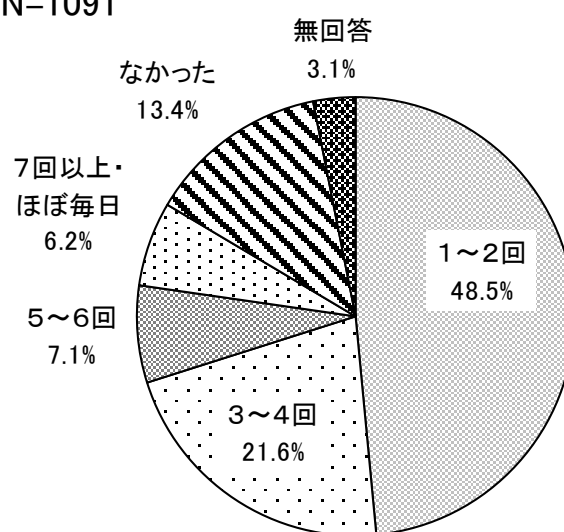
イ 学校以外での活動

○学校以外で30分以上からだを動かす遊びや習い事に行くことを「ほとんどしない・全くしない」は20.4%です。

ウ 幼少期のスポーツ活動

○未就学児の頃に、幼稚園・保育園の活動以外で30分以上からだを動かす遊びや習い事に行くことが「なかった」子どもは13.4%です。

N=1091



【未就学児の頃のスポーツ活動】

(3)スポーツの実施場所

ア 一般区民

○「民間商業施設(フィットネスクラブ、スキー場、ゴルフ場など)」が最も多く34.6%、ついで「公共スポーツ施設」が28.6%、「道路や遊歩道」が25.2%です。

イ 子ども

○体育の授業や休み時間以外では、「学校のクラブ活動・運動部活動」が最も多く45.7%、ついで「家族や友人など誰かと一緒に」が43.9%、「民間のスポーツクラブ・チーム(スイミングクラブなど)」が24.2%、「地域のスポーツクラブ・チーム(少年野球、道場など)」が24.0%です。

(4)スポーツをするために必要なこと

ア 関心を持つようになったきっかけ

○関心を持つようになったきっかけは、「学校の授業や行事・部活動の経験」が最も多く36.3%、ついで「美容・健康を意識して」が36.0%、「テレビで大会や試合の様子を観て」が26.7%です。

イ 一般区民がスポーツをするようになるきっかけ

○スポーツをするようになるきっかけとしては、「身近な場所で実施できる」が最も多く47.6%、ついで「手ごろな価格で施設を利用できる」が40.2%、「レベルを気にせず参加できる機会がある」が38.8%です。

ウ 子どもが運動・スポーツをするようになるきっかけ

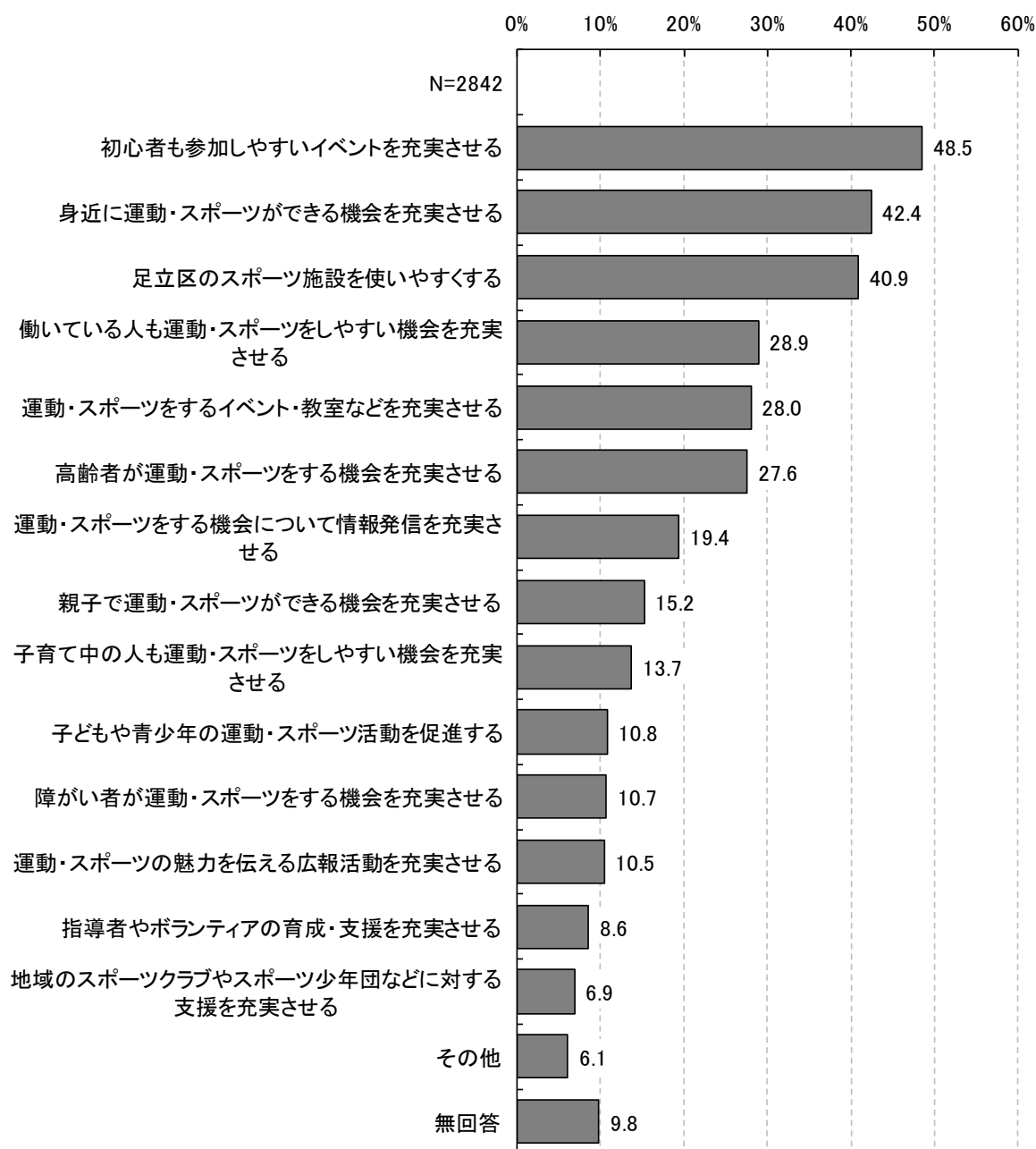
○子どもが運動・スポーツをするようになるきっかけとしては、「一緒に運動・スポーツをする仲間と出会える」が最も多く31.8%、ついで「身近な場所で運動・スポーツができる」が30.0%、「レベルを気にせず参加できる機会がある」が29.6%です。

○小学5年生では、「一緒に運動・スポーツをする仲間と出会える」が最も多く36.3%、ついで「レベルを気にせず参加できる機会がある」が28.8%、「身近な場所で運動・スポーツができる」が27.5%です。

○中学1年生では、「身近な場所で運動・スポーツができる」が最も多く31.5%、ついで「レベルを気にせず参加できる機会がある」が30.1%、「一緒に運動・スポーツをする仲間と出会える」が29.4%です。

エ 区に求める取組

○「初心者も参加しやすいイベントを充実させる」が最も多く48.5%、ついで「身近に運動・スポーツができる機会を充実させる」が42.4%、「足立区のスポーツ施設を使いやすくする」40.9%です。



【足立区で運動・スポーツを楽しむ人が増えるために、重点的に進めた方が良い施策】

(5)スポーツの効果

ア スポーツをする人が増えることによる効果

○スポーツをする人が増えることで、まちにもたらされる効果としては、「心身ともに健康な人が増える」が80.7%で最も多く、ついで「地域の人々のコミュニティが形成され、深まる」が56.8%となっています。また、「健やかに、心豊かな子どもが育つ」「住民同士が支え合い、助け合う雰囲気生まれる」も50%を超えています。

(12項目)	文化	読書	スポーツ	無回答
1. 心身ともに健康な人が増える	38.7%	32.2%	80.7%	16.2%
2. 健やかに、心豊かな子どもが育つ	56.4%	67.1%	52.7%	18.4%
3. 自立して、やりたいことに取り組む人が増える	45.0%	35.6%	47.8%	27.4%
4. 新しい、価値ある物事が発信されるようになる	58.2%	47.4%	19.4%	26.3%
5. 住民同士が支え合い、助け合う雰囲気生まれる	52.9%	8.5%	52.3%	28.1%
6. 多様性が尊重され、住みやすくなる	55.7%	24.1%	31.0%	32.9%
7. 社会性や道徳観が高まり、安心して住めるようになる	56.0%	38.4%	35.0%	28.5%
8. 地域の人々のコミュニティが形成され、深まる	56.8%	11.5%	56.8%	26.8%
9. 地域の課題に主体的に取り組む人が増える	52.5%	12.9%	35.1%	34.9%
10. 地域に対する愛着・誇りが高まる	64.2%	12.4%	35.0%	29.6%
11. まちの魅力が高まる	63.9%	15.3%	34.9%	31.2%
12. 効果はない	0.9%	2.1%	0.9%	97.6%

イ スポーツが子どもにもたらす効果

○スポーツが子どもにもたらす効果（保護者が回答）としては、「何事もあきらめずにやりとげる意欲」が67.4%で最も多く、「自分のやりたいことに向かって心と体を働かせる意欲」が54.3%、「他人と協力・協調する気持ち」が45.7%と多くなっています。

■各分野における上位3位

	文化	読書	スポーツ
1位	感じたことや考えたことを自分で表現する意欲	新しい考えを生み出し、自分の考えをより良いものにする意欲	何事もあきらめずにやりとげる意欲
2位	新しい考えを生み出し、自分の考えをより良いものにする意欲	感じたことや考えたことを自分で表現する意欲	自分のやりたいことに向かって心と体を働かせる意欲
3位	他者の意見や価値観を尊重する気持ち	他者の意見や価値観を尊重する気持ち	他人と協力・協調する気持ち

(6)関心・行動別にみた回答者の構成

○無関心層は「60～69歳」が最も多く、ついで「70～79歳」「50～59歳」となっている。

○関心層は「60～69歳」が最も多く、ついで「50～59歳」「70～79歳」となっている。

○行動層は「50～59歳」が最も多く、ついで「60～69歳」「40～49歳」となっている。

	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
全体	2,667	70	195	327	447	493	512	437	176	10
	100.0	2.6	7.3	12.3	16.8	18.5	19.2	16.4	6.6	0.4
無関心層	566	13	44	51	93	95	104	103	61	2
	100.0	2.3	7.8	9.0	16.4	16.8	18.4	18.2	10.8	0.4
関心層	614	9	26	69	99	121	138	104	47	1
	100.0	1.5	4.2	11.2	16.1	19.7	22.5	16.9	7.7	0.2
行動層	1,321	38	103	180	230	249	243	215	56	7
	100.0	2.9	7.8	13.6	17.4	18.8	18.4	16.3	4.2	0.5
その他	166	10	22	27	25	28	27	15	12	0
	100.0	6.0	13.3	16.3	15.1	16.9	16.3	9.0	7.2	0.0

(7)運動・スポーツをしていない人の特徴

ア 年代からみた、運動・スポーツしていない理由（一般区民、Q32）

○16～29歳、40～49歳では「面倒くさいから」という回答が最も多くなっている。

○30～39歳では「子どもに手がかかるから」という回答が最も多くなっている。

○70歳以上では「年をとったから」という回答が最も多くなっている。

イ 年代からみた、運動・スポーツを実施するためのきっかけ

（一般区民、Q33）

○16～19歳では「レベルを気にせず参加できる機会がある」という回答が最も多くなっている。

○20～39歳では「手ごろな価格で施設を利用できる」という回答が最も多くなっている。

20～29歳では「身近な場所で実施できる」という回答も同数で最も多くなっている。

○40歳以上では「身近な場所で実施できる」という回答が最も多くなっている。

ウ 関心・行動別にみた、運動・スポーツしていない理由

（一般区民、Q32）

○無関心層では「面倒くさいから」という回答が最も多く、ついで、「年をとったから」「生活や仕事で体を動かしているから」が多くなっている。

○関心層では「年をとったから」という回答が最も多く、ついで、「生活や仕事で体を動かしているから」「お金に余裕がないから」が多くなっている。

エ 関心・行動別にみた、運動・スポーツを実施するためのきっかけ

（一般区民、Q33）

○無関心層、関心層、行動層のいずれにおいても「身近な場所で実施できる」という回答が最も多く、ついで、「手ごろな価格で施設を利用できる」「レベルを気にせず参加できる機会がある」が多くなっている。

(8)区に求める施策

ア 年代からみた、区に求める施策(一般区民、Q36)

- 16～19歳では「初心者も参加しやすいイベントを充実させる」「身近に運動・スポーツができる機会を充実させる」という回答が同数で最も多くなっている。
- 30～69歳では「初心者も参加しやすいイベントを充実させる」という回答が最も多くなっている。
- 20～29歳では「足立区のスポーツ施設を使いやすくする」という回答が最も多くなっている。
- 70歳以上では「高齢者が運動・スポーツをする機会を充実させる」という回答が最も多くなっている。

イ 関心・行動別にみた、区に求める施策(一般区民、Q36)

- 無関心層、関心層、行動層のいずれにおいても「初心者も参加しやすいイベントを充実させる」という回答が最も多くなっている。
- 2番目に多い回答をみると、無関心層、行動層では「身近に運動・スポーツができる機会を充実させる」、関心層では「足立区のスポーツ施設を使いやすくする」となっている。

(9)区内に住む人とのつながり

ア 年代からみた、区内に住む人とのつながり(一般区民、Q41)

- 16～59歳では「つながりのある人はいない」という回答が最も多くなっている。
- 60～79歳では「食事に行ったり、遊んだりする気の合う人がいる」という回答が最も多くなっている。
- 80歳以上では「同じ趣味や関心事を持つ人がいる」という回答が最も多くなっている。

イ 関心・行動別にみた、区内に住む人とのつながり(一般区民、Q41)

- 無関心層、関心層では「つながりのある人はいない」という回答が最も多く、ついで「食事に行ったり、遊んだりする気の合う人がいる」となっている。
- 行動層では「食事に行ったり、遊んだりする気の合う人がいる」という回答が最も多く、ついで「同じ趣味や関心事を持つ人がいる」となっている。

(10)保護者のスポーツへの関心と子どものスポーツ実施

(小5・中1向け調査、Q18)

- 現在無関心層である保護者は、現在行動層である保護者と比較して、幼少期の子どもに運動をさせていなかった人の割合が高くなっている。

6. 3分野を横断した分析

(1) 読書と他分野との連携に向けた分析(一般区民)

○読書分野で行動している人(関心をもち、本を読んでいる人)の、他の分野での関心・行動の度合いを分析しました。さらに、他分野の行動層における読書の関心・行動の度合いを調べました。

ア 各分野における関心・行動の度合いの関連性

- 各分野間の関連の強さをみると、読書と文化の関連が最も強くなっています(相関係数が0.390)。読書に関心をもち、かつ本を読んでいる人は、文化芸術にも関心をもち、かつ鑑賞している傾向にあると言えます。
- 読書とスポーツ、文化とスポーツの分野間についても、読書と文化に比べると弱いながらも一定の関連性が確認できました。

各分野における関心・行動の度合いの関連性(相関分析の結果)

分野間	関連の強さ(相関係数)	統計的な意味(有意水準)
読書と文化	0.390	あり(**, $P < 0.01$)
読書とスポーツ	0.220	あり(**, $P < 0.01$)
文化とスポーツ	0.225	あり(**, $P < 0.01$)

(参考)関連の強さ(相関係数)の表す意味

相関係数	意味
$-1 < r < -0.7$	強い負の相関
$-0.7 < r < -0.4$	負の相関
$-0.4 < r < -0.2$	弱い負の相関
$-0.2 < r < 0.2$	ほとんど相関がない
$0.2 < r < 0.4$	弱い正の相関
$0.4 < r < 0.7$	正の相関
$0.7 < r < 1$	強い正の相関

※一般的に、
 $0.2 < r < 0.4$ で弱い
 正の相関があると言
 われているため、
 0.4 に近い数値程、
 関連が強いと言えま
 す。

イ 読書の行動層の他分野における関心・行動の度合い

- 読書の行動層では、文化およびスポーツでも行動層も多くなっています。行動している人は分野にかかわらず、行動していると推察されます(一般区民)。
- 読書の行動層においては、文化・スポーツの関心層(関心を持ちながら、行動をしていない人)は約2割となっています(一般区民)。
- なお、文化・スポーツの行動層における読書の関心・行動については、関心層よりも無関心層の方が多くなっています(一般区民)。

各分野における関心・行動の度合いの分布

分野	無関心層	関心層	行動層
文化	19.0%	18.7%	45.1%
読書	29.8%	11.6%	43.3%
スポーツ	19.9%	21.6%	46.5%

注) 上記は一般区民向け調査の回収数「N=2,842」を全体として算出している割合です。

	合計	文化の関心・行動の度合い				
		無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
読書の行動層	(N=1230)	9.3	18.8	62.6	6.7	2.5

【読書の関心層・行動層からみた文化の関心・行動の度合い】

	合計	スポーツの関心・行動の度合い				
		無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
読書の行動層	(N=1230)	16.8	19.7	56.6	4.6	2.4

【読書の関心層・行動層からみたスポーツの関心・行動の度合い】

	合計	読書の関心・行動の度合い				
		無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
文化の行動層	(N=1282)	16.8	11.9	60.1	10.3	0.9

【文化の関心層・行動層からみた読書の関心・行動の度合い】

	合計	読書の関心・行動の度合い				
		無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
スポーツの行動層	(N=1321)	23.2	10.6	52.7	11.4	2.1

【スポーツの関心層・行動層からみた読書の関心・行動の度合い】

(2)読書の行動層における他の分野での行動に関する課題等(一般区民)

○読書の行動層を対象として他分野で行動を促すとき、他分野における関心層が働きかけやすいと想定し、関心層における課題や必要とされる取組を分析します。

【文化について】

ア 文化：関心を持つようになったきっかけ

○読書の行動層のうち、文化の行動層では関心層に比べて、家族・友人などの影響が多いほか、「小説やマンガを通じて」が多くなっています。

	合計	親(家族・親族など)が文化芸術を観たり、聴いたりさせてくれた	親(家族・親族など)が文化芸術に親しんでいたから	自分の子どもが文化芸術を好きだから	友人・知人に誘われて	学校の授業や行事・部活動の経験	テレビや新聞などの宣伝・広告をみて
全体	(N=1001)	32.6	23.8	10.6	33.7	28.3	46.4
関心層	(N=231)	22.1	19.0	8.2	25.5	26.8	42.4
行動層	(N=770)	35.7	25.2	11.3	36.1	28.7	47.5

	合計	小説や漫画を通じて	ドラマや映画を通じて	特定の作家・アーティストや作品に関心を持った	足立区の施設で公演・展示会などを観たり、聴いたりして	その他	無回答
全体	(N=1001)	34.8	38.2	37.8	8.1	5.6	0.4
関心層	(N=231)	29.9	36.4	31.6	5.6	9.1	0.4
行動層	(N=770)	36.2	38.7	39.6	8.8	4.5	0.4

【読書の行動層に関して文化の関心・行動の度合いでみた関心を持つようになったきっかけ】

イ 文化：過去1年間で鑑賞しなかった理由

○関心層では無関心層に比べて「子どもに手がかかるから」、「病気やけがをしているから」などの理由が多くなっています。

	合計	仲間がいないから	楽しみ方を教えてもらわなかったから	子どもに手がかかるから	病気やけがをしているから	年をとったから	場所や施設がないから	お金に余裕がないから	文化芸術が嫌いだから
全体	(N=346)	6.9	0.9	9.5	10.4	11.3	2.9	17.9	0.3
無関心層	(N=115)	6.1	1.7	6.1	8.7	18.3	3.5	18.3	0.9
関心層	(N=231)	7.4	0.4	11.3	11.3	7.8	2.6	17.7	0.0

	合計	面倒くさいから	文化芸術以上に大切なことがあるから	その他	特に理由はない	無回答
全体	(N=346)	10.4	6.6	24.6	22.3	4.3
無関心層	(N=115)	12.2	8.7	12.2	33.0	5.2
関心層	(N=231)	9.5	5.6	30.7	16.9	3.9

【読書の行動層に関して文化の関心・行動の度合いでみた鑑賞しなかった理由】

ウ 文化：行動するようになるきっかけ

○関心層では、他の層と比べて「行きやすい時間帯であれば」が特に多くなっています。

	合計	手ごろな 料金であ れば	身近な場 所があれば	行きやす い時間帯 であれば	気兼ねし ない雰囲気 であれば	楽しみ方 を教えても られれば	CDやDV Dなどで気 軽に知る ことができ れば	文化芸術 を観たり、 聴いたり する機会 の情報が 得られれ ば	その他	わからな い	無回答
全体	(N=1199)	52.0	48.2	29.9	19.5	15.8	5.3	27.8	5.6	3.4	18.8
無関心層	(N=115)	43.5	50.4	27.0	16.5	8.7	2.6	17.4	4.3	11.3	7.8
関心層	(N=231)	51.9	56.7	43.3	21.6	13.0	4.3	24.2	9.5	3.9	3.9
行動層	(N=770)	54.4	46.2	27.8	19.6	18.1	5.7	31.7	4.8	1.8	24.7

【読書の行動層に関して文化の関心・行動の度合いでみた行動するようになるきっかけ】

エ 文化：行動するために区に求める取組

○関心層では、他の層と比べて「働いている人も文化芸術に触れやすい機会をつくる」、
「子育て中の人も文化芸術に触れやすい機会をつくる」が多くなっています。

	合計	文化芸術 に触れる イベント・ 公演など を充実さ せる	身近に文 化芸術に 触れる機 会をつくる	子どもが 自由に創 作・表現 ができる 機会をつ くる	親子で文 化芸術に 触れる機 会をつくる	練習や発 表のため の場を充 実させる	学校や児 童館など 子どもの いる場所 で文化芸 術に触れ る機会を つくる	働いてい る人も文 化芸術に 触れやす い機会を つくる	子育て中 の人も文 化芸術に 触れやす い機会を つくる
全体	(N=1199)	40.2	43.5	24.9	23.6	14.3	29.7	33.7	21.9
無関心層	(N=115)	18.3	34.8	12.2	7.0	3.5	19.1	20.9	9.6
関心層	(N=231)	36.8	46.3	26.8	27.3	15.6	31.6	40.3	27.3
行動層	(N=770)	47.1	44.4	26.1	26.0	16.2	31.4	34.8	23.0

	合計	高齢者施 設で文化 芸術に触 れる機会 をつくる	障がい者 が表現や 創作をす る機会や 発表の場 をつくる	足立区民 や民間団 体などの 活動に対 する支援 を充実さ せる	地域の伝 統行事や 文化財を 保護し、次 世代に継 承する	文化芸術 の魅力を 伝える広 報活動を行 う	文化芸術 を観たり・ 聴いたり・ 体験する 機会につ いて情報 発信を行 う	その他	無回答
全体	(N=1199)	20.9	12.3	13.6	21.6	21.9	37.9	4.4	4.4
無関心層	(N=115)	23.5	7.0	6.1	12.2	16.5	23.5	2.6	13.0
関心層	(N=231)	20.8	13.4	16.0	21.2	19.5	31.6	4.3	5.2
行動層	(N=770)	20.9	13.2	14.5	23.4	24.4	43.2	4.8	2.9

【読書の行動層に関して文化の関心・行動の度合いでみた区に求める取組】

【スポーツについて】

オ スポーツ:関心を持つようになったきっかけ

○読書の行動層のうち、スポーツの行動層では関心層と比べて、友人などの影響が多いほか、「美容・健康を意識して」が多くなっています。

○文化に比べて「小説や漫画を通じて」は多くありません。

	合計	親(家族・親族など)と一緒に体を動かして遊んでくれた	親(家族・親族など)が運動・スポーツをしていた	自分の子どもが運動・スポーツをしていた	友人・知人に誘われて	学校の授業や行事・部活動の経験	テレビや新聞などの宣伝・広告をみて	テレビで大会や試合の様子を観て	小説や漫画を通じて
全体	(N=938)	16.7	15.1	15.4	27.1	39.6	14.6	28.3	9.1
関心層	(N=242)	15.3	12.4	18.6	18.6	34.3	15.3	41.3	11.2
行動層	(N=696)	17.2	16.1	14.2	30.0	41.4	14.4	23.7	8.3

	合計	ドラマや映画を通じて	イベントでトップレベルの選手と接して(引退した選手も含む)	足立区の施設で運動・スポーツに関わるイベントに参加して	美容・健康を意識して	医師にすすめられて	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決まって	その他	無回答
全体	(N=938)	8.3	3.7	8.7	43.4	7.2	1.4	4.6	5.4
関心層	(N=242)	8.3	3.7	4.5	31.4	3.7	2.1	3.7	7.9
行動層	(N=696)	8.3	3.7	10.2	47.6	8.5	1.1	4.9	4.6

【読書の行動層に関して文化の関心・行動の度合いでみた関心を持つようになったきっかけ】

カ スポーツ:過去1年間で運動・スポーツをしなかった理由

○関心層では、無関心層と比べて「年をとったから」、「場所や施設がないから」、「参加したい行事や教室がないから」が多くなっています。

	合計	子どもに手がかかるから	病気やけがをしているから	年をとったから	場所や施設がないから	仲間がいないから	指導者がいないから	お金に余裕がないから	参加したい行事や教室がないから
全体	(N=449)	8.5	12.2	18.9	13.1	9.4	2.7	14.9	10.7
無関心層	(N=207)	9.7	14.0	15.9	10.1	9.7	3.4	14.0	8.2
関心層	(N=242)	7.4	10.7	21.5	15.7	9.1	2.1	15.7	12.8

	合計	運動・スポーツが嫌いだから	面倒くさいから	運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	生活や仕事で体を動かしているから	その他	特に理由はない	無回答
全体	(N=449)	9.6	21.4	7.8	20.9	15.4	7.3	6.2
無関心層	(N=207)	15.9	24.6	10.6	18.8	9.7	6.3	7.2
関心層	(N=242)	4.1	18.6	5.4	22.7	20.2	8.3	5.4

【読書の行動層に関して文化の関心・行動の度合いでみた運動・スポーツをしなかった理由】

キ スポーツ:行動するようになるきっかけ

○関心層については他の層と比べて大きく違う点は見られません。

○行動層においては、他の層と比べて「一緒に運動・スポーツをする仲間と出会える」、「楽しみ方・やり方を教えてもらえる」が多くなっています。

	合計	手ごろな 価格で施 設を利用 できる	身近な場 所で実施 できる	スポーツ 施設の開 館時間が 長い	一緒に運 動・スポ ーツする仲 間と出会 える	レベルを 気にせず 参加でき る機会が ある	楽しみ方・ やり方を 教えてもら える
全体	(N=1201)	46.8	56.5	15.3	32.3	45.6	32.8
無関心層	(N=207)	31.4	43.5	7.7	14.5	35.3	24.2
関心層	(N=242)	44.6	57.4	16.1	25.2	43.8	25.2
行動層	(N=696)	52.4	60.3	17.8	40.5	49.6	37.8

	合計	実施でき る機会に 関する情 報を得や すくなる	プロの試 合や国際 大会を観 戦する機 会がある	トップアス リートと交 流する機 会がある	その他	わからな い	無回答
全体	(N=1201)	19.2	8.3	8.6	5.2	6.5	10.0
無関心層	(N=207)	12.6	1.4	1.9	5.3	18.8	9.2
関心層	(N=242)	17.8	8.3	10.3	5.4	7.0	9.5
行動層	(N=696)	22.0	11.1	10.5	5.2	2.9	9.8

【読書の行動層に関してスポーツの関心・行動の度合いでみた行動するようになるきっかけ】

ク スポーツ:行動するために区に求める取組

○関心層において、他の層と比べて大きく違う点は見られません。

○行動層においては、他の層と比べて「身近に運動・スポーツができる機会を充実させる」、「足立区のスポーツ施設を使いやすくする」が多くなっています。

	合計	運動・ス ポーツをす るイベン ト・教室な どを充実さ せる	初心者も 参加しや すいイベン トを充実さ せる	身近に運 動・スポ ーツができ る機会を 充実させる	親子で運 動・スポ ーツができ る機会を 充実させる	足立区の スポーツ 施設を使 いやすくす る	子どもや 青少年の 運動・ス ポーツ活 動を促進 する	働いてい る人も運 動・スポ ーツをしや すい機会を 充実させる	子育て中 の人も運 動・スポ ーツをしや すい機会を 充実させる
全体	(N=1201)	33.8	53.5	48.1	18.2	47.0	12.3	34.5	17.2
無関心層	(N=207)	24.2	51.2	31.9	11.1	30.4	4.8	28.5	12.1
関心層	(N=242)	32.6	55.4	42.1	17.4	44.6	10.3	34.7	16.9
行動層	(N=696)	38.1	53.9	54.6	21.4	53.9	14.7	36.8	19.0

	合計	高齢者が 運動・ス ポーツをす る機会を 充実させる	障がい者 が運動・ス ポーツをす る機会を 充実させる	指導者や ボランティア の育成・ 支援を充 実させる	地域のス ポーツクラ ブやス ポーツ少 年団など に対する 支援を充 実させる	運動・ス ポーツの 魅力を伝 える広報 活動を充 実させる	運動・ス ポーツをす る機会に ついて情 報発信を 充実させる	その他	無回答
全体	(N=1201)	28.1	12.7	10.6	8.3	11.7	23.7	5.8	3.9
無関心層	(N=207)	25.6	7.7	5.3	2.9	5.3	15.0	4.8	10.1
関心層	(N=242)	29.8	12.0	11.2	7.4	11.2	24.4	6.2	3.7
行動層	(N=696)	27.6	14.5	12.2	10.8	14.1	26.6	6.2	2.2

【読書の行動層に関してスポーツの関心・行動の度合いでみた区に求める取組】

(3)3分野すべてにおける無関心層の特徴

○3分野のいずれについても無関心層である人の特徴を把握し、何らかの関心を持つようになる上での課題や必要な取組について分析します。

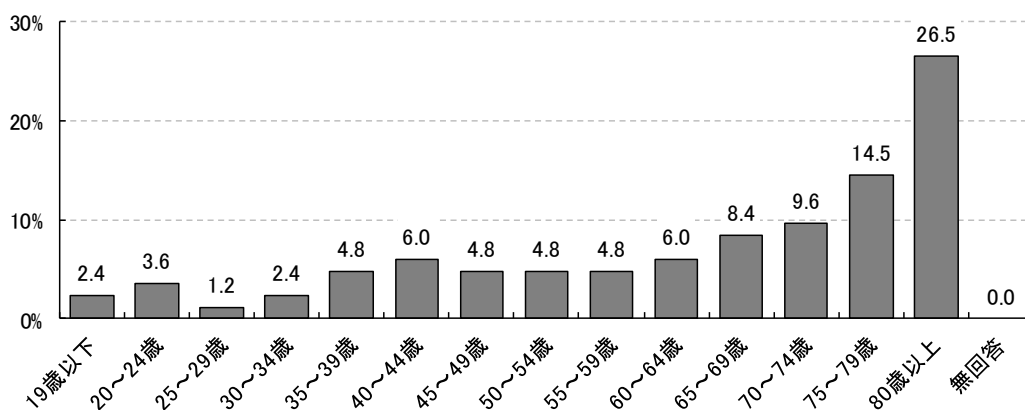
ア 3分野すべてにおける無関心層の特徴

○一般区民において3分野すべてにおける無関心層は2.9%(83人)です。子どもにおいては0.0%となっています。

○3分野すべてにおける無関心層の性別の内訳をみると、女性(43.4%)よりも男性(49.4%)の方がやや多くなっています。

○3分野すべてにおける無関心層の年齢の内訳は、75歳以上が41.0%となっています。65歳以上では59.0%となっています。

N=83



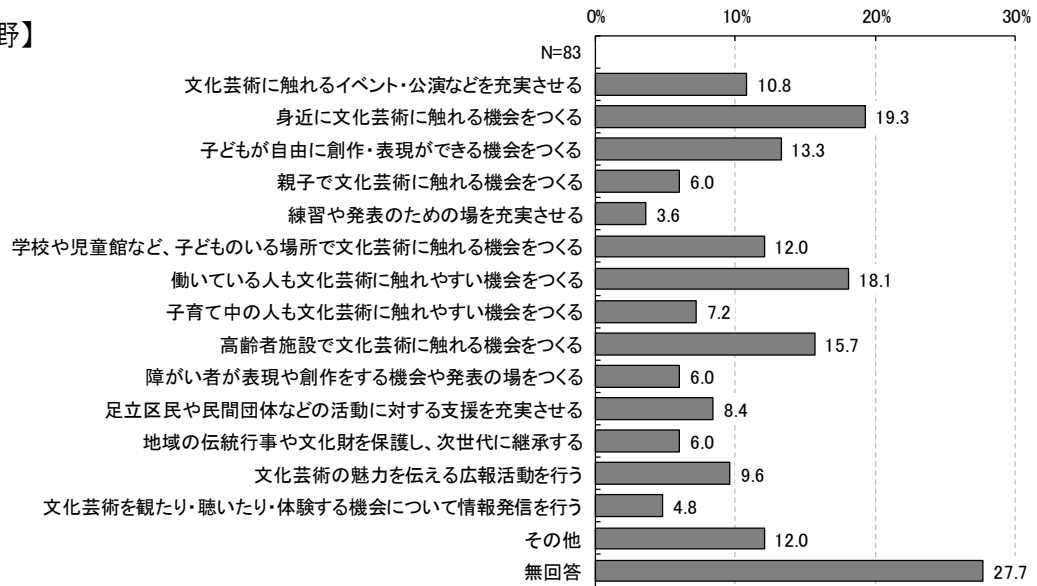
【無関心層の年齢内訳】

○3分野すべてにおける無関心層では、「特に関心のある分野はない」が9割を上回っており、他のことにも関心がないことが分かります。

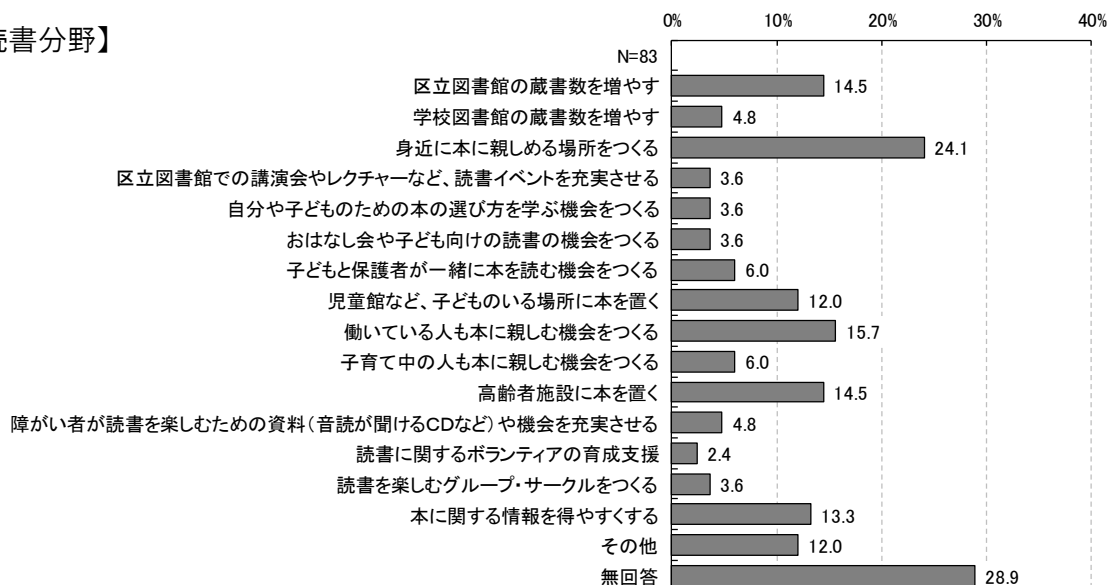
○3分野すべてにおける無関心層において、それぞれの分野で行動を起こすために区に求める取組をみると、文化・読書に関しては「身近さ」、「働いていても触れやすい機会」、「高齢施設へのアウトリーチ」が多くなっています。

○スポーツに関しては「高齢者向けの取組」が多い点は他の2分野と共通していますが、「初心者も参加しやすいイベントを充実させる」、「足立区のスポーツ施設を使いやすくする」が多くなっています。

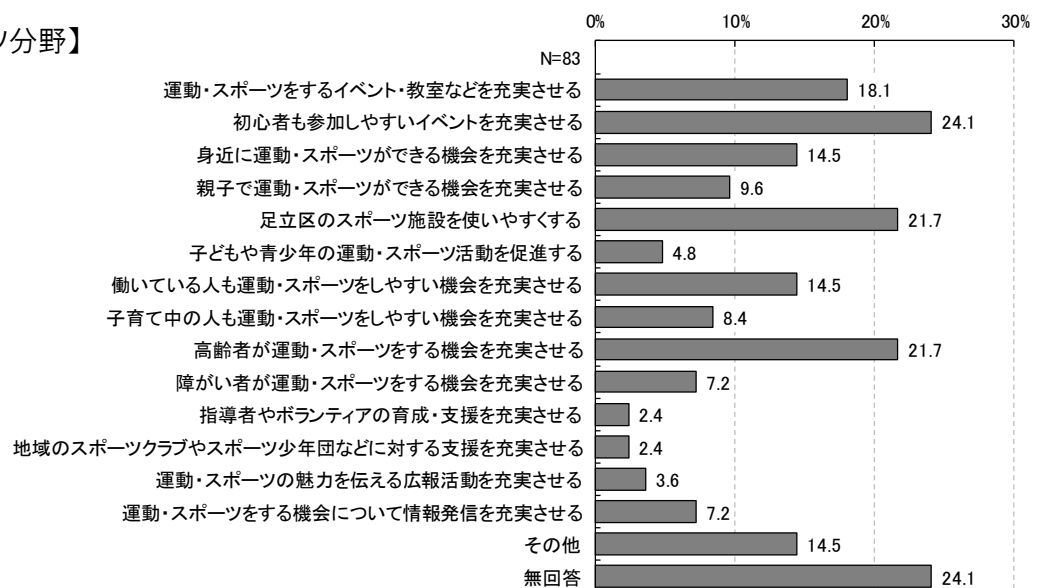
【文化分野】



【読書分野】



【スポーツ分野】



【3分野における無関心層が行動するために区に求める取組】